

明治地区の防災を共に考える

～あなたのまちの防災対策～

2025年9月21日

小川雄二郎

講師の紹介

• 小川雄二郎

- 辻堂地区防災協議会 アドバイザー
- 辻堂地区まちづくり会議 会長

• 経歴

- 財団法人都市防災研究所
- 国際連合・地域開発センター
- (一財)アジア防災センター
- 富士常葉大学環境防災学部
- 富士常葉大学大学院環境防災研究科
- 防災インターナショナル（個人事務所）
- (一財)アジア防災センター



研究部長
防災計画主幹
所長
学部長、教授
科長、教授
代表
理事長

藤沢防災ナビ（各戸配布） の紹介

第1章 災害発生

- ・地震
- ・津波
- ・火災
- ・避難の判断
- ・風水害

第2章 備え

- ・日頃の備え
- ・災害への心構え

第3章 もしも起ったその時に

- ・避難所では助け合いと思いやりを
- ・災害後にやること

第4章 ハザードマップ

- ・ハザードマップの使い方
- ・避難場所一覧
- ・洪水・内水・土砂災害
- ・津波

・付録1 目指せ防災マスター

・付録2

- ・タイムラインで風水害に備え
- ・もしもの時のサバイバルカード

目次

1 防災の考え方

2 過去の災害に学ぶ

3 災害発生の危険性

- 3-1 神奈川県での災害発生の危険性
- 3-2 明治地区での災害発生の危険性

4 災害対策

- 4-1 どんな対策があるか、お尋ねします
- 4-2 明治地区での危険に備える
- 4-3 辻堂での取り組み事例

5 人間側のいくつかの問題

1 防災の考え方

1-1 防災とは

1-2 被害の大きさを決める
要因

1-1 防災とは

災害の定義

災害とは

- 広辞苑
 - 異常な自然現象や人為的原因によって、人間の社会生活や人命に受ける被害
- 災害対策基本法 基本法（1961 年 11 月 15 日制定）
 - 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象または大規模な火災若しくは爆発 その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害

災害の分類

- 自然災害、

- 災害種別による分類

- 地震 — 地震、火災、津波
- 台風 — 豪雨、洪水
- 火山噴火

- 自然災害の特徴

- 大災害——低頻度
- 小災害——高頻度

- 人為災害

- 火災、爆発
- 工場地帯
- 車両、飛行機墜落
- 飛行ルート
- 紛争、戦争
- 最近の日本では忘れられているが、世界では頻発

- 特殊災害

- イナゴ
- 疫病

1-2 被害の大きさを決める要素

被害

$$= \frac{\text{(自然現象の大きさ)}}{\text{(人間社会の強さ)}} =$$

地震、
台風、津波

人間では変えられない

施設、
情報、
意識

人間で変えられる

2 過去の災害に学ぶ

関東大震災

1923年9月1日

関東大震災死者数	
全体	10.5万人
火災	9.2万人
被服廠跡	3.8万人



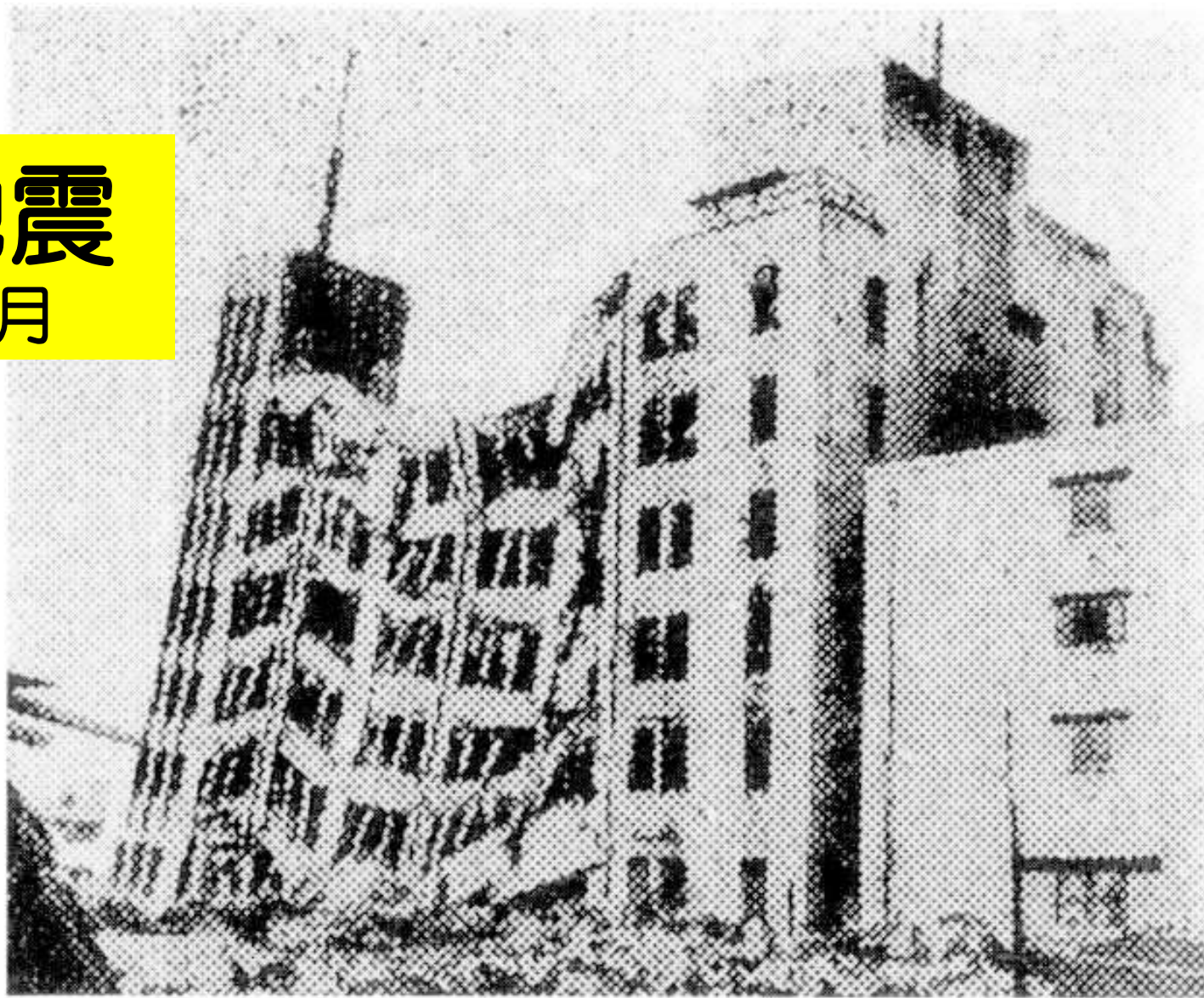
日本橋の上での火災からの避難者
学研



被服廠跡焼死者3万8千人

福井地震

1948年6月



福井地震による 7 階建て建物の倒壊 総理府

新潟地震

1964年6月



石油タンクの炎上、単純桁橋の落下 新潟日報社



液状化による鉄筋コンクリートアパートの倒壊 総理府



単純桁橋の落下 伯野

十勝沖地震

1968年5月



短柱のせん断破壊 伯野

宮城県沖地震

1978年6月



浮屋根式の石油タンクで火災 伯野

阪神淡路大震災

1995年1月



中間層の崩壊 5学会



単柱コンクリート高架橋の崩壊 5学会

東日本大震災 2011年3月



住宅の被害 津波による流失



事故後の福島第一原子力発電所
(左から 1、2、3、4 号機 / 2011 年 3 月 16 日撮影)

出典:福島第一原子力発電所1～3号機の事故の
経過の概要 東京電力発行

https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/outline/2_1-j.html

3 災害発生の危険性

3-1 神奈川県での災害発生の危険性

3-2 明治地区での災害発生の危険性

3-1 神奈川県での 災害発生危険性

3-1-1 神奈川県地震被害想定 2015年作成

3-1-2 被害想定結果

3-1-3 震度分布

3-1-4 液状化危険度

3-1-5 急傾斜地崩壊危険度

3-1-6 津波水位

3-1-7 建物倒壊棟数

3-1-8 火災

3-1-9 藤沢市の被害想定

3-1-1 神奈川県被害想定調査 平成27年3月

神奈川県地震被害想定調査 平成27年3月 神奈川県地震被害想定調査委員会

- 6つの地震を設定して被害想定調査を実施
- 藤沢市は影響の最も大きい想定地震と想定津波を定めて地域防災計画を策定
 - 想定地震 : 相模トラフ沿いの最大規模の地震
 - 想定津波 : 相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)



神奈川県地震被害想定調査報告書（概要版） 令和7年3月

URL 神奈川県地震被害想定

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/16375/gaiyou.pdf>

3-1-2 神奈川県地震被害想定結果

相模トラフ沿いの最大クラスの地震 (平成7年3月)の一覧 冬の18時

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/16375/siryou_1.pdf

項目		相模トラフ沿いの最大クラスの地震 Mw8.7	
		神奈川県	藤沢市
建物被害	全壊棟数	453,440棟	29,970棟
	半壊棟数	472,130棟	26,310棟
火災	炎上出火件数	2,390件	170件
	焼失棟数	103,630棟	7,480棟
死者	建物	17,250人	1,050人
	津波	78,400人	11,300人
避難者数	1日～3日	直後 3,066,920人,1日目 193,410人, 2日目 192,040人	
帰宅困難者		直後 1,060,310人, 1日目 73,600, 2日目 59,380	
自力脱出困難者		90,110人	6,270人
災害関連死		12,270人	

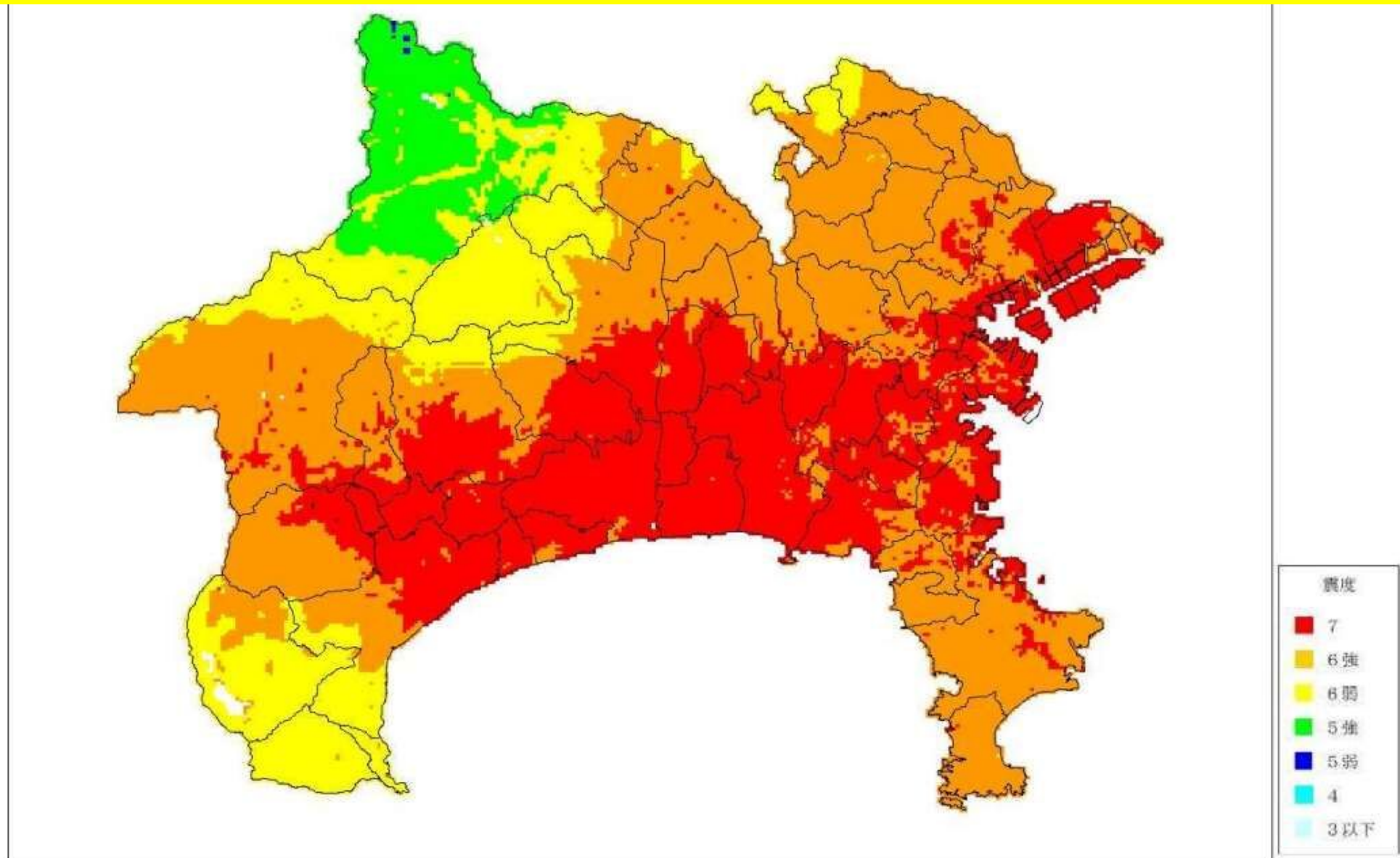
3-1-2 神奈川県地震被害想定結果(続き)

相模トラフ沿いの最大クラスの地震 (平成7年3月)の一覧 冬の18時

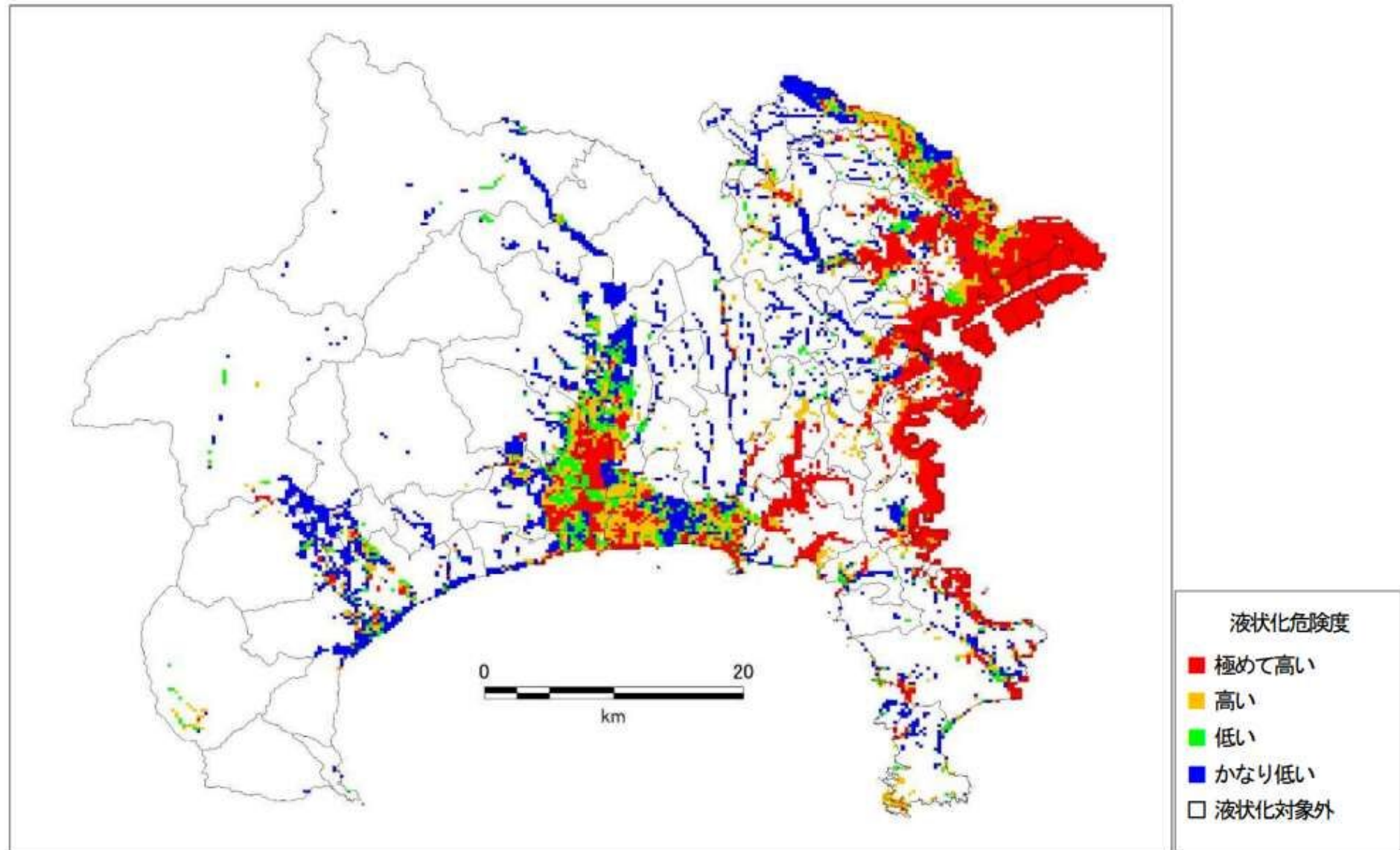
https://www.pref.kanagawa.jp/documents/16375/siryou_1.pdf

項目	Mw	相模トラフ沿いの最大クラスの地震 Mw8.7	
		神奈川県	藤沢市
ライフライン	上水道(断水人口)	6,285,400 人	400,220人
	下水道(機能支障人口)	1,346,980 人	76,810
	都市ガス(供給停止)	2,336,270 件	144,330
	電力(停電戸数)	3,199,510 軒	2,358
	通信(不通回線数)	2,585,860回線	175,700
交通障害	道路(箇所)	874 箇所	
	鉄道(不通区間数)	368 区間	
	港湾(被害バース数)	27 箇所	
その他	エレベーター(停止台数)	8,810 台	600台
災害廃棄物	災害廃棄物	7,960 万 t	470万t
	津波堆積物量	390～520 万 t	20～30万t
被害金額	建物被害額(億円)	32兆2,890 億円	2兆0,820億円

3-1-3震度分布 (相模トラフ沿いの最大クラスの地震)



3-1-4 液状化危険度 (相模トラフ沿いの最大クラスの地震)



3-1-5 急傾斜地崩壊危険（相模トラフ沿いの最大クラスの地震）

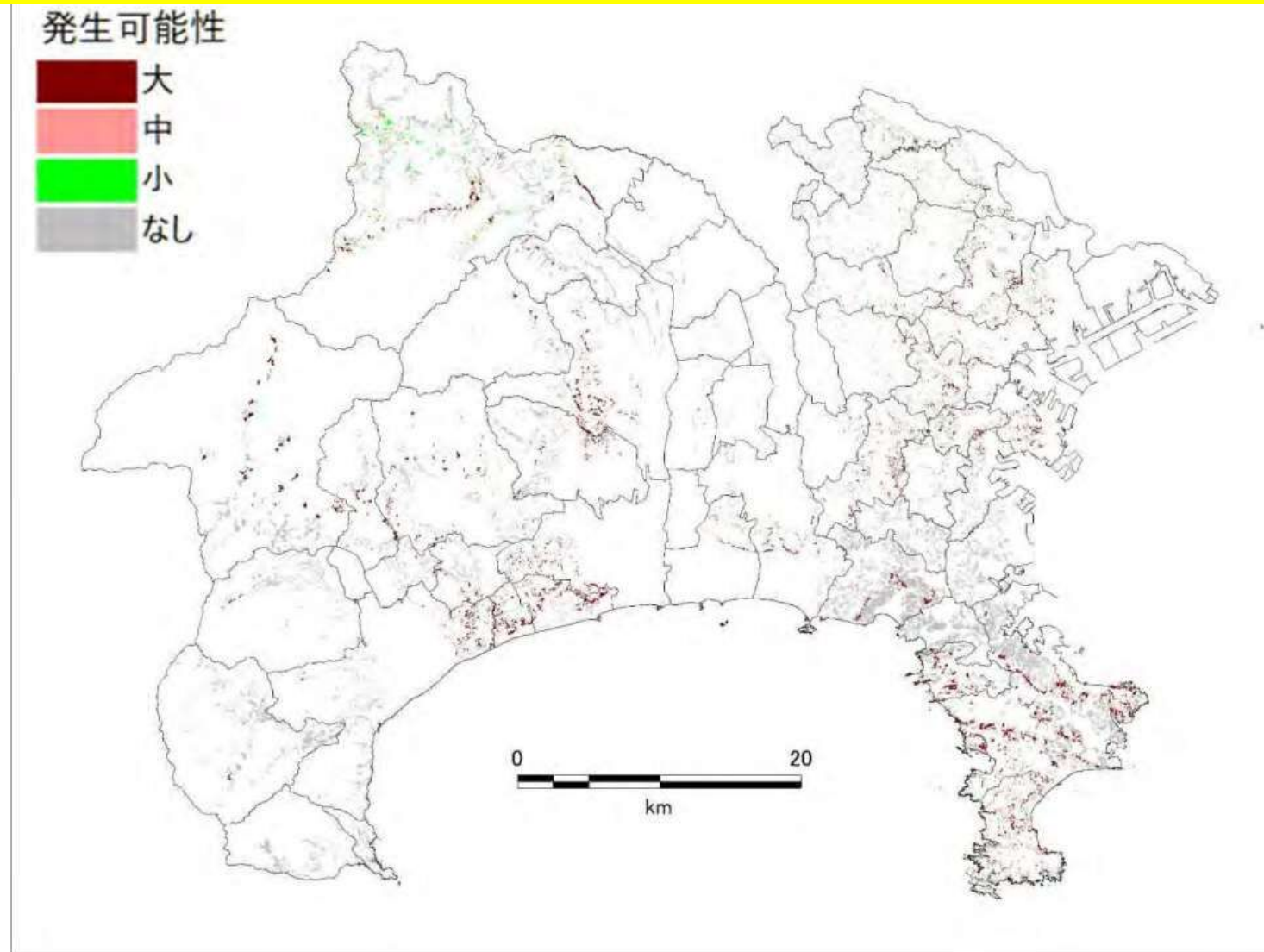
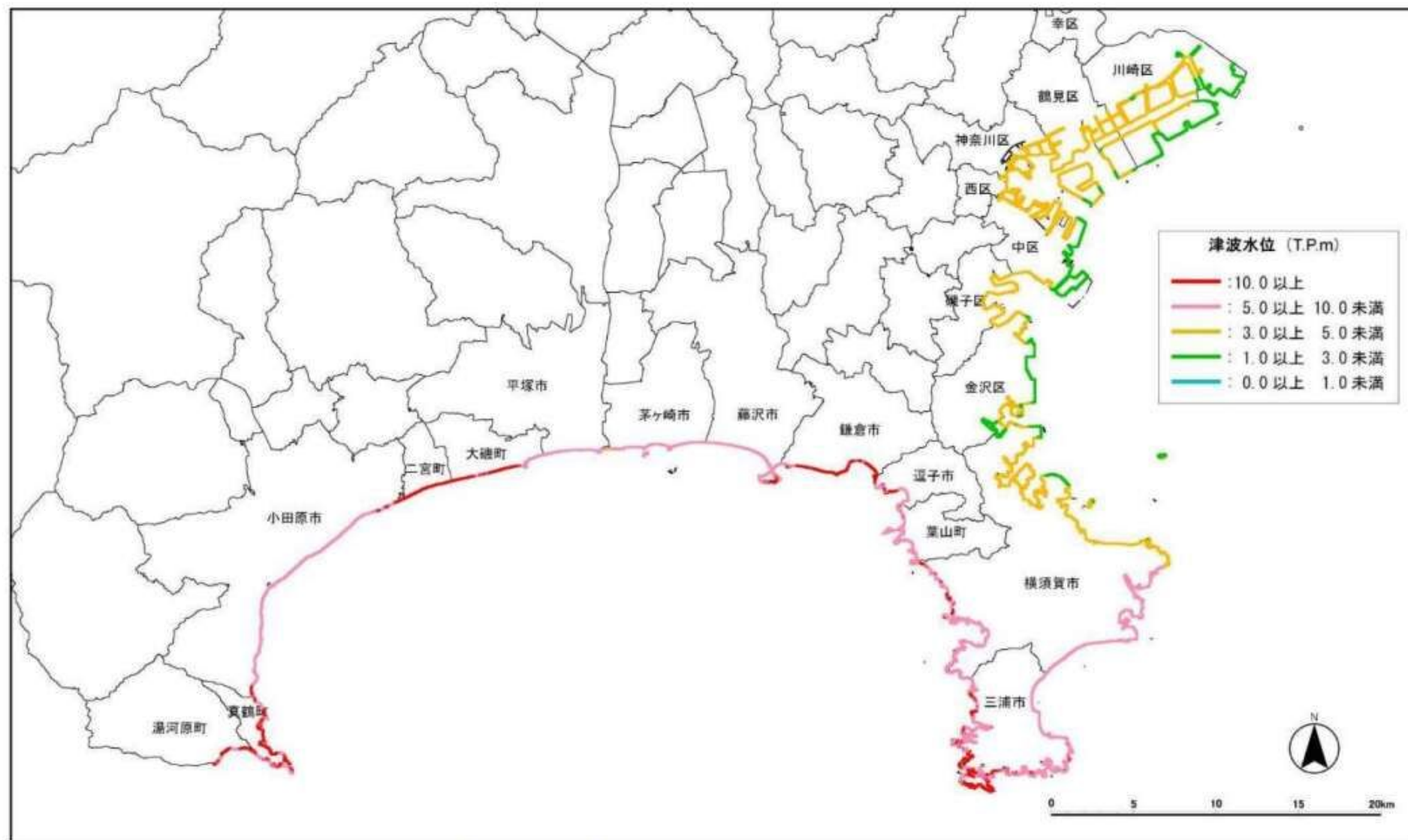


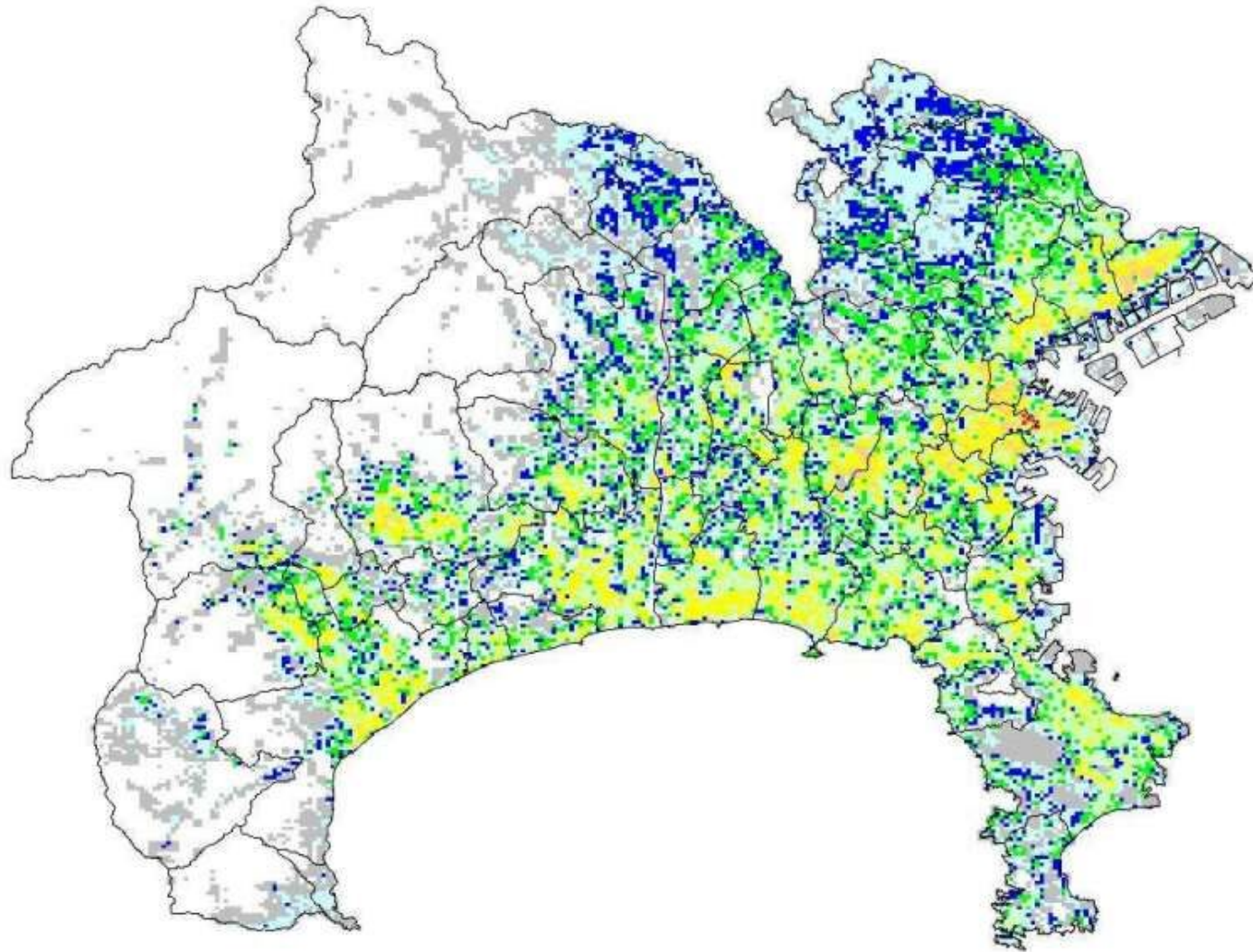
図 2.56 相模トラフ沿いの最大クラスの地震（参考）の急傾斜地崩壊の想定結果

3-1-6 津波水位（相模トラフ沿いの最大クラスの地震）

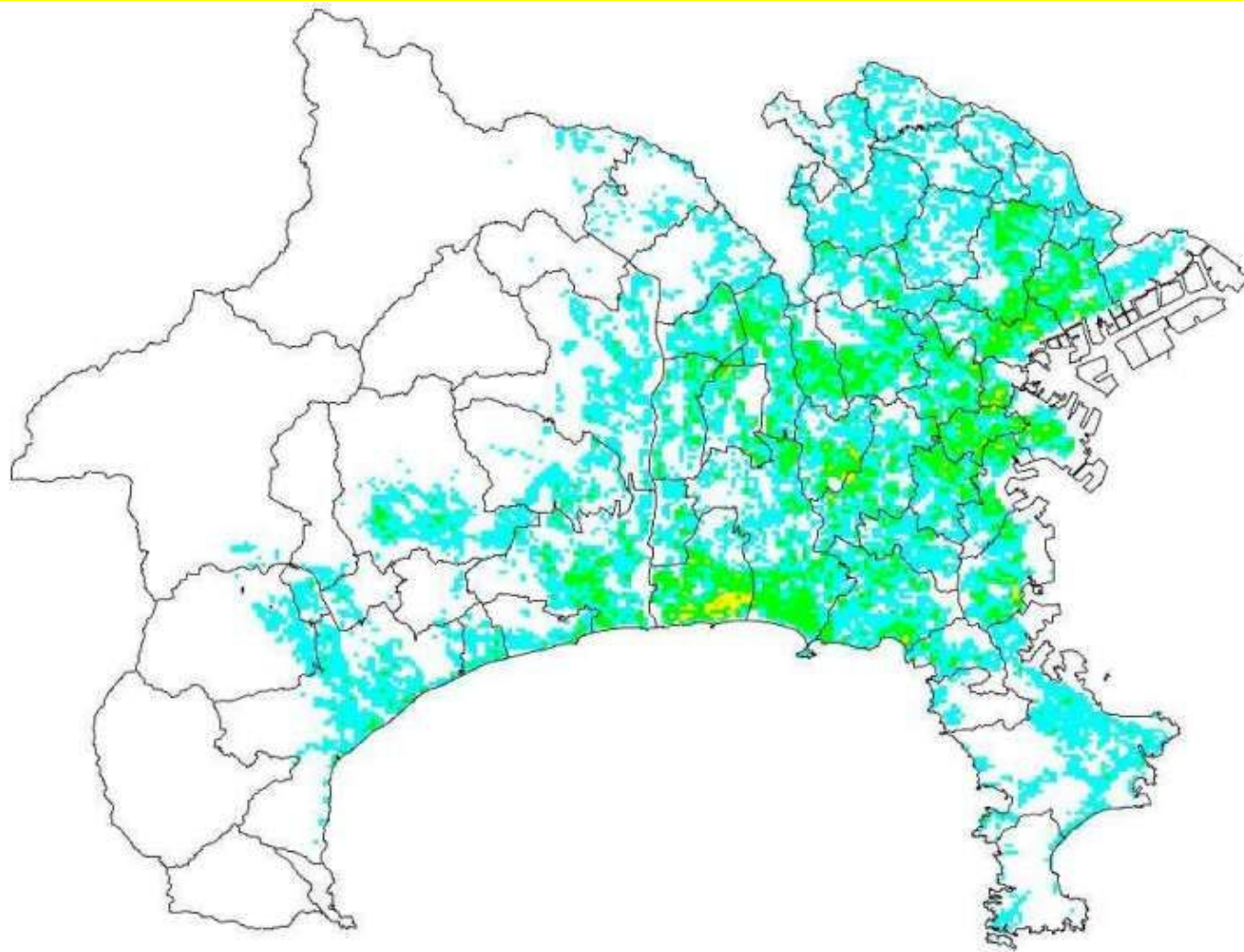


※水位は東京湾平均海面からの高さ（単位：T.P.m）として表示しています。

3-1-7 建物倒壊棟数 (相模トラフ沿いの最大クラスの地震)



3-1-8 火災焼失 (相模トラフ沿いの最大クラスの地震)



焼失棟数（棟）の誤り

全壊棟数（棟）



3-1-9 藤沢市の被害想定

地震被害想定調査報告書(令和7年3月) 資料1 市町村別被害想定一覧

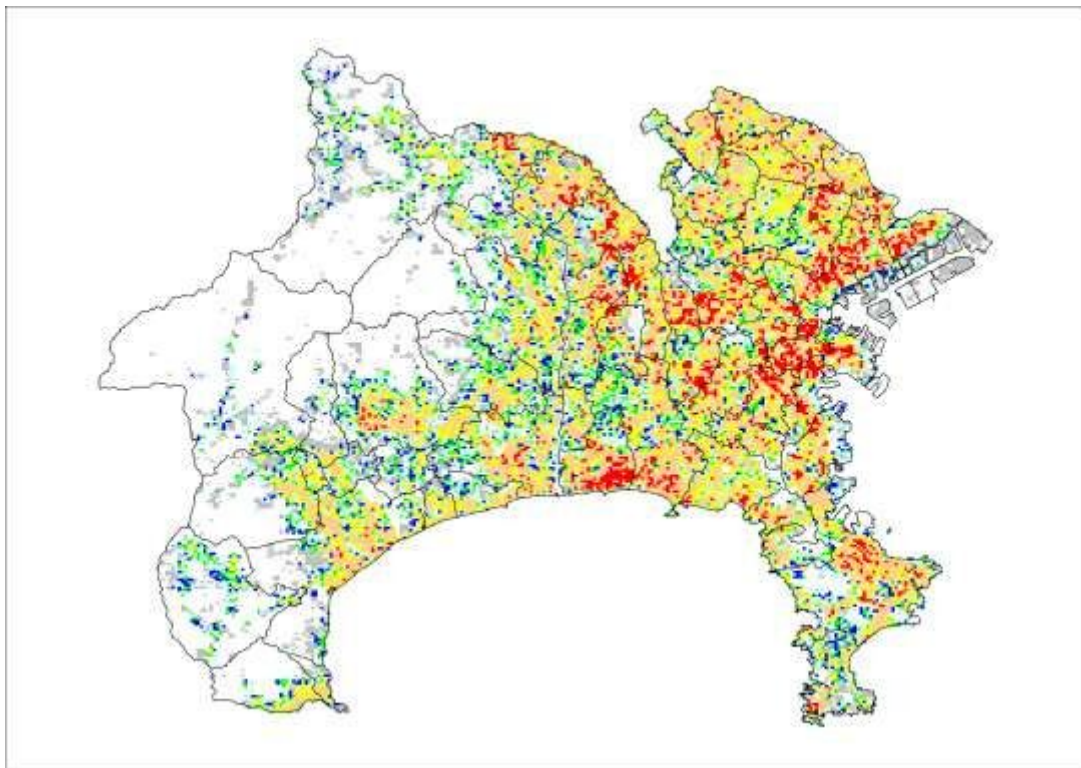
https://www.pref.kanagawa.jp/documents/16375/siryou_1.pdf

	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
揺れ・液状化による	28930	24320		
急傾斜地による	20	50		
津波による	4060	4870	510	910
重複を除く	29970	26310		
	焼失		出火件数	残
火災 (冬18時)	7480		170	110
冬18時、津波0時	死者	重症者	中等症者	軽症者
合計	12520	500	3950	5100
揺れ	1050	320	2580	3400
火災	70			
津波	11300	70	430	400
屋内収容物	100	90	800	1150

この結果は、結構大変な数字で

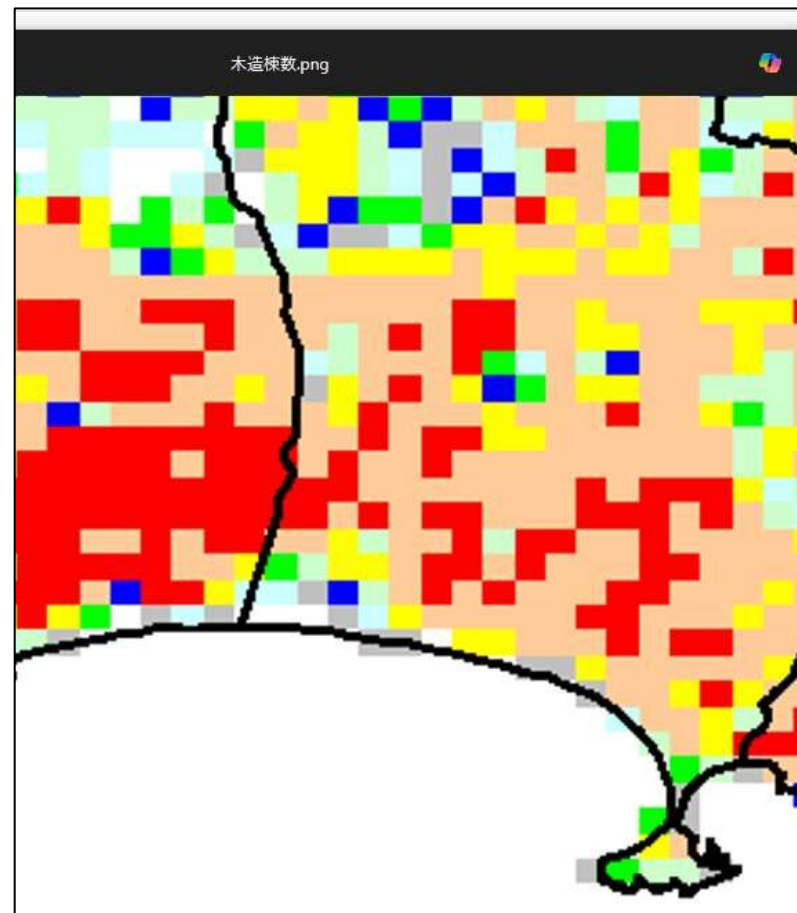
- 例えば、津波の死者が藤沢市で11,300人とある。
- 津波の被害は、片瀬、鵜沼、辻堂地区が殆ど
- 私の住んでいる地区では3,850人も死んでしまう。
- 辻堂の中でも津波浸水域は海岸沿いなので、
- 1,000人当たりの死者数は、海岸近くはもっと危険

	藤沢市	3地区合計	片瀬地区	鵜沼地区	辻堂地区
人口	444,833	131,824	20,054	66,838	44,932
津波による死者	11,300	11,300	1,700	5,700	3,900
死者数／1000人	11人／1000人	86人／1000人			



例えば木造率の図面250mメッシュ

拡大
⇒



地区の災害の危険を見るには
より詳細な評価が必要

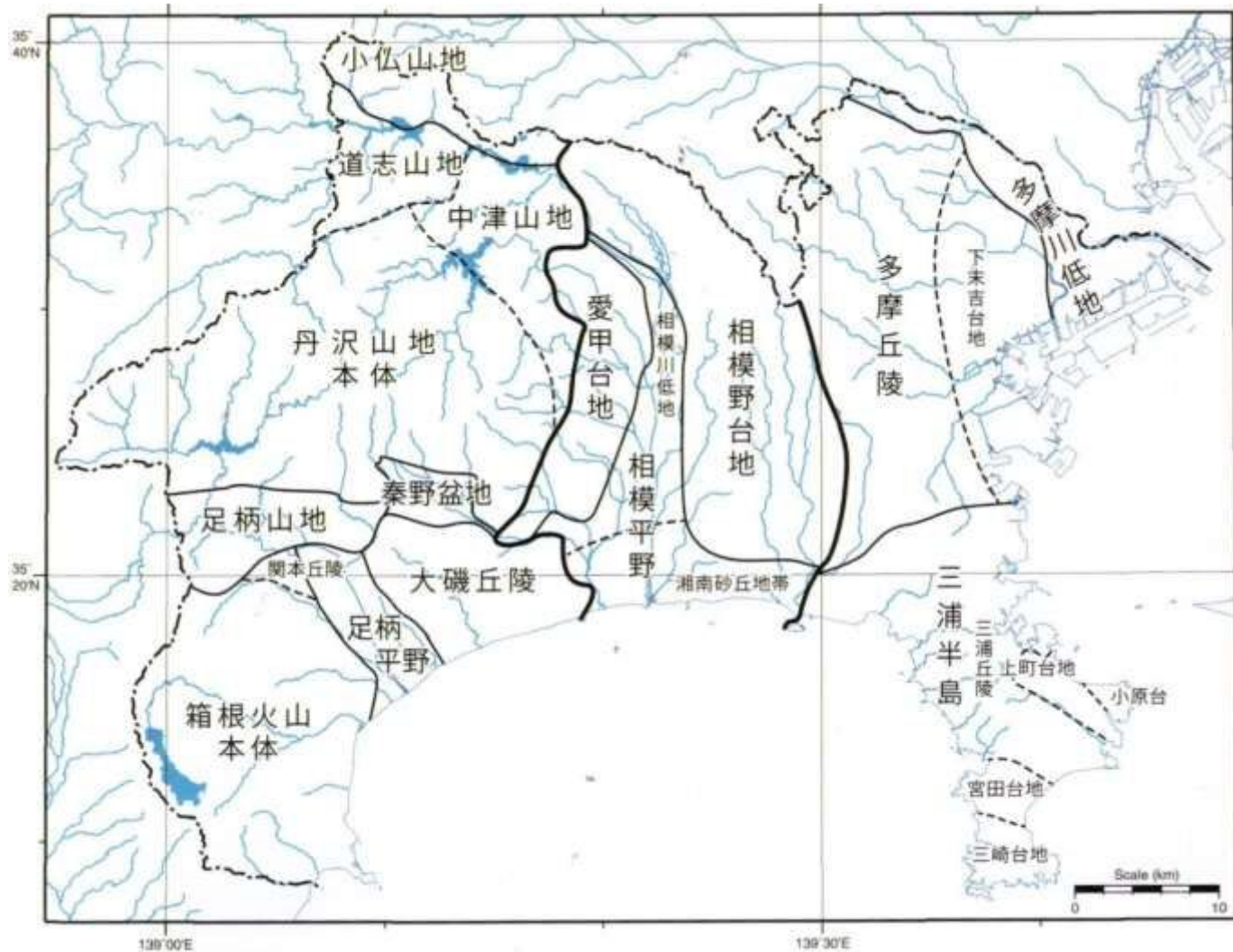
3-2 明治地区で の災害発生の危険性

3-2-1 藤沢、明治地区の地形

3-2-2 明治地区の受けやすい災害は？

3-2-1 藤沢・明治の地形

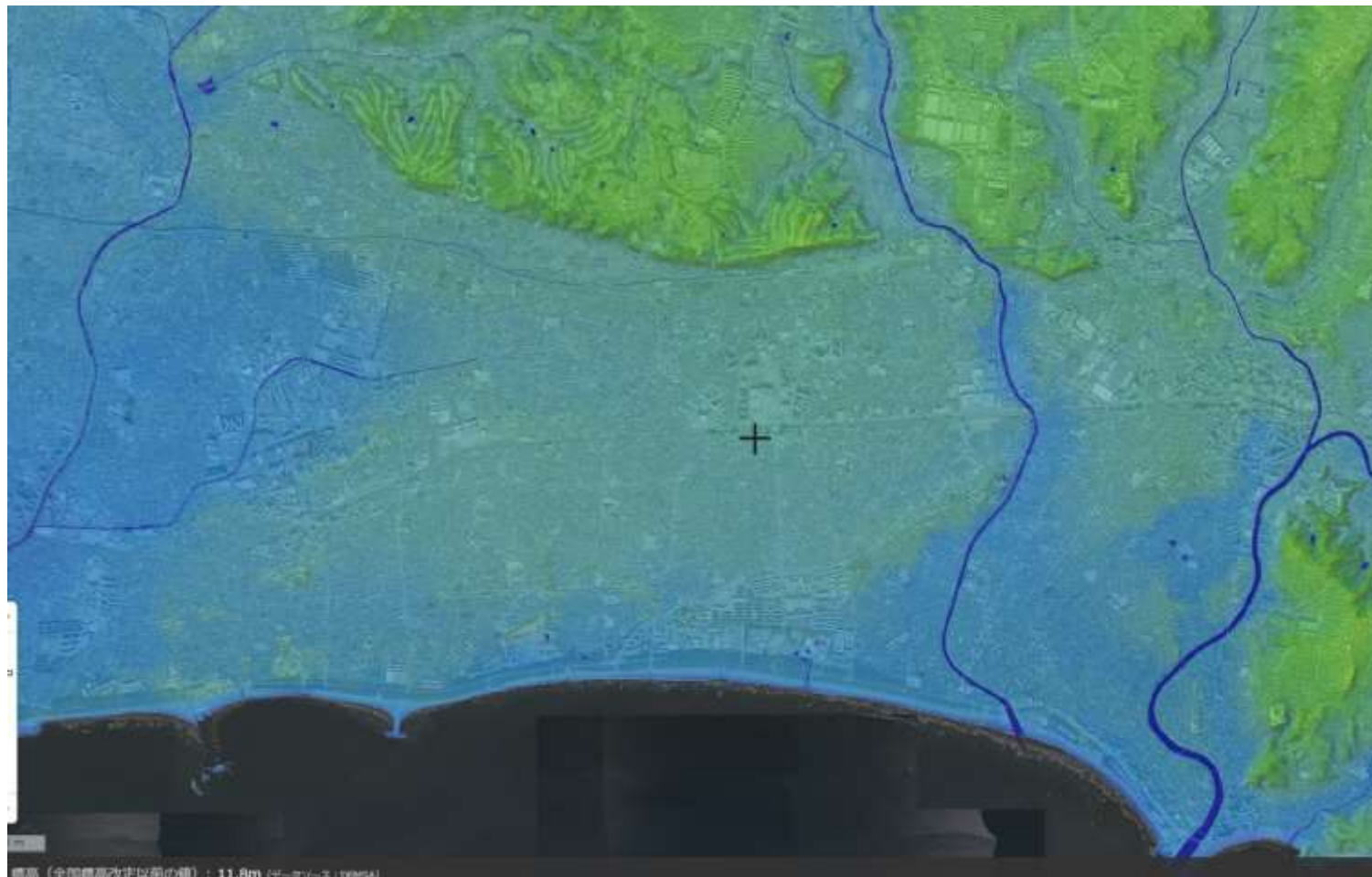
湘南の地形区分



藤沢周辺の地形区分

神奈川県地形区分 (新井田, 2021; 鈴木, 1964、松島・平田, 1988 を参考に作成)

明治地区の標高地形図



位置	標高
モールフィル東引地川	5.2m
上村橋	7.1
引地橋西	8.7m
高名橋	9.2m
城南隧道南口	12.5m
国道1号線羽鳥交番前	14.6m
羽鳥小学校校庭	14.4
辻堂駅北口	12.9
明治地区センター	12.6
神台1丁目交差点	13.2
スバル東側	12.8

- 国土地理院色別標高図

明治15年(1982年)の明治村



明治15年(1882年)参謀本部測量課作成　今から142年前　藤沢市文書館所蔵

関東大震災(1923年)復興圖の明治村



大藤澤復興市街圖 所蔵 藤澤浮世絵館

ころはり灸整骨院
取り除くことに特化
ころはり灸整骨院

リラクゼーションサロン「ボンテ」
駅徒歩8分 駐車場3台有り
鍼灸 マッサージ 鍼治療



おなかと内視鏡のクリニック
内視鏡検査（胃・大腸カメラ）
・おなかと内視鏡のクリニック



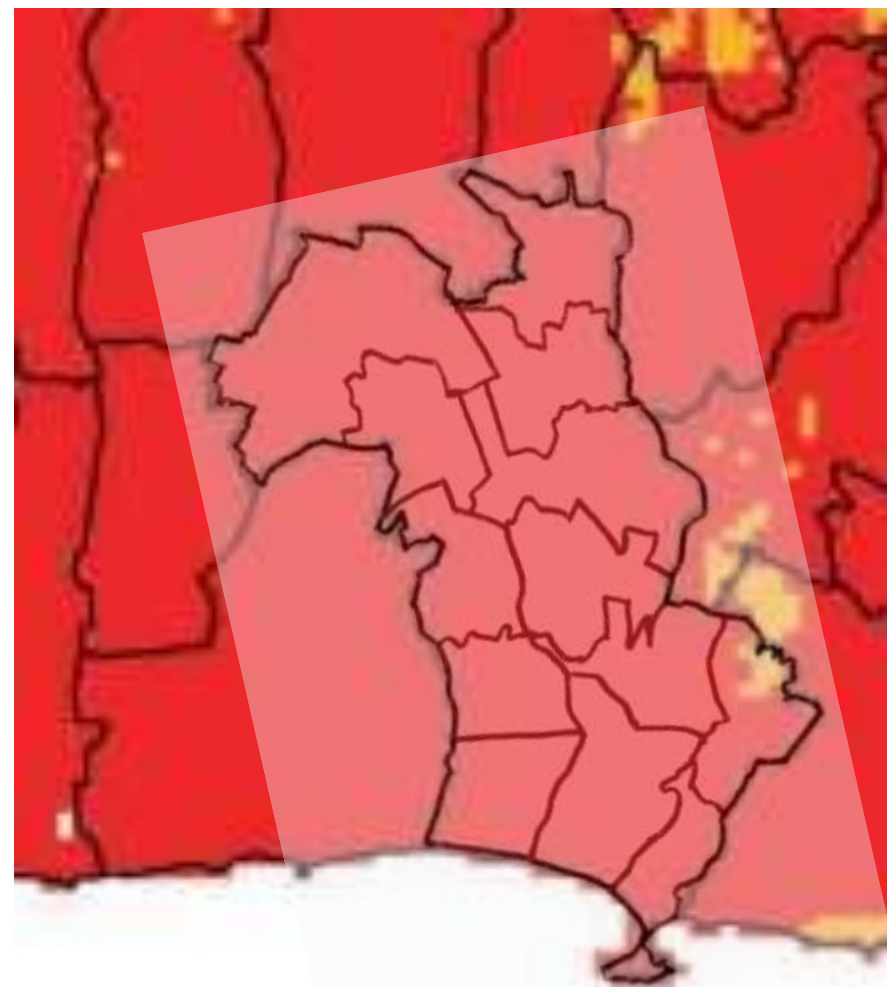
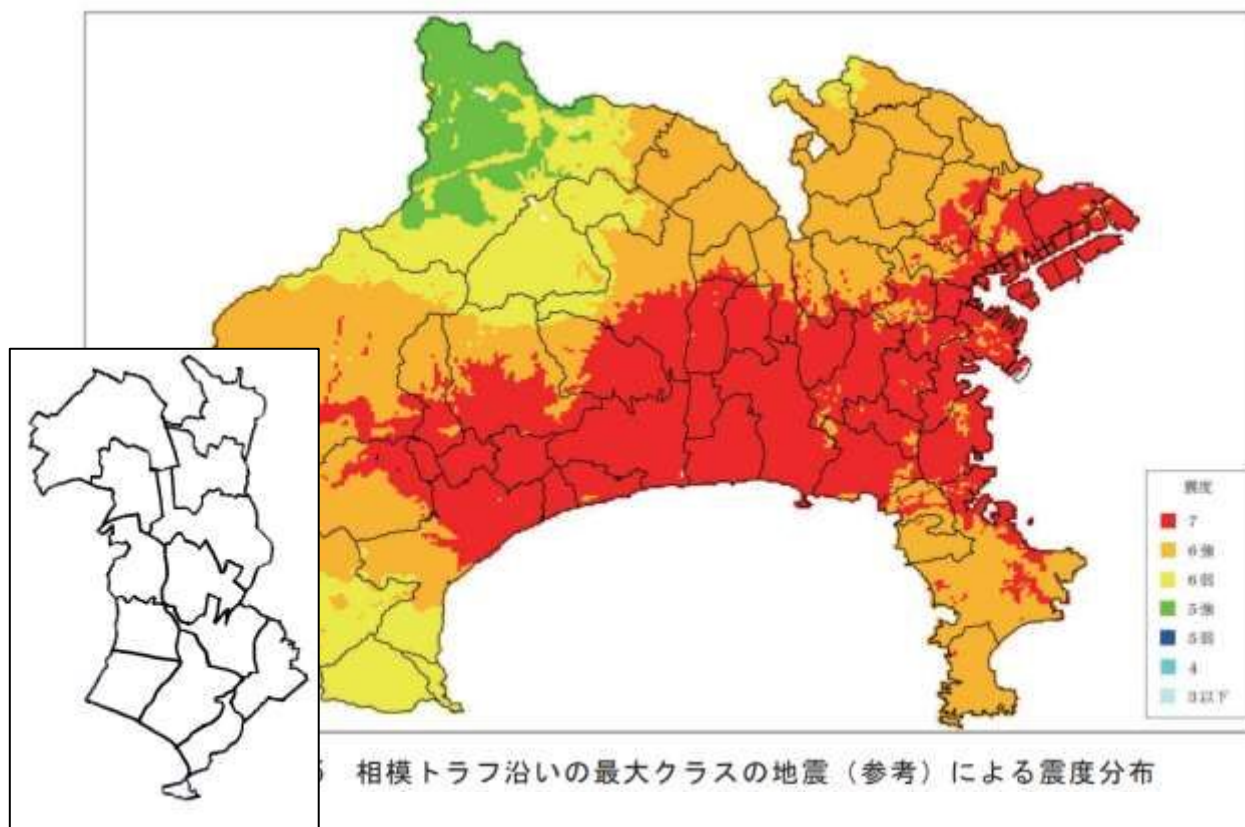
買取大吉 ミスターマックス湘南藤沢店
【今週末まで】買取額最大50%UP



イエローハット 辻堂新町店
年に一度のハットの日感謝セール

3-2-2 明治地区の受けやすい災害

地震の震度分布（相模トラフ沿い最大地震）





FUJISAWA

液状化危険度マップ

Liquefaction Potential Map
Mapa de áreas de Licuación de Suelos
Mapa de Risco de Liquefação dos Solos
Bản đồ khu vực dễ lún ngập
液化地图
액화지도

液状化現象が発生する危険度

Liquefaction Potential
Potencial de licuefacción
Potencial de liquefação
Tiềm năng hóa lỏng
液化潜能 액상화 위험도



危険度	High	Moderate	Low
高い	High	Moderate	Low
やや高い	High	Moderate	Low
低い	High	Moderate	Low

15 < PL
5 < PL ≤ 15
0 < PL ≤ 5



を参考にしました。

【地図】

背景の地図には、平成22年度作成の都市計画基本図を使用しました。

液状化現象の起こり方

地震前

マンホール
に接触している状態です。



地震時

マンホール
揺れによって砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。



地震後

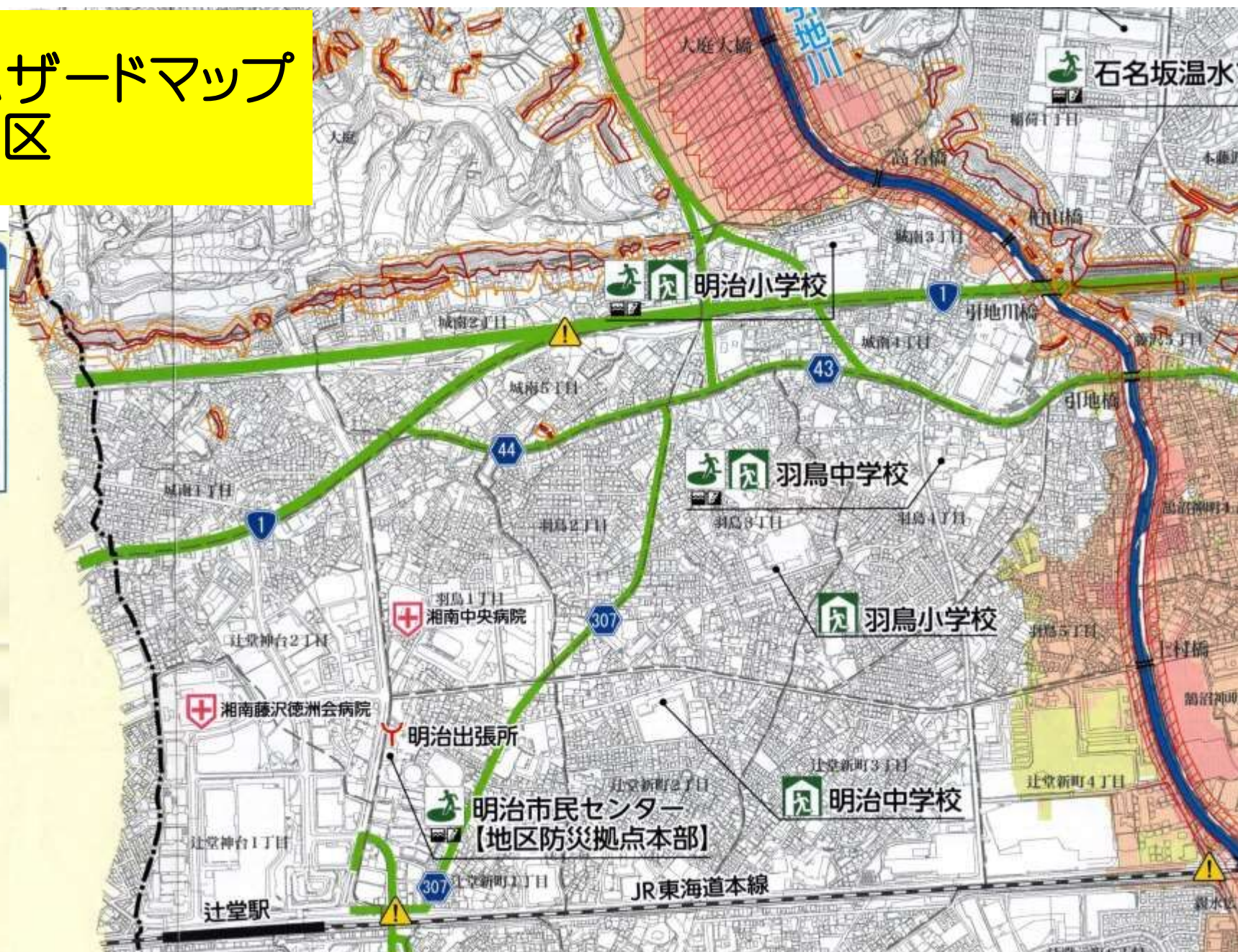
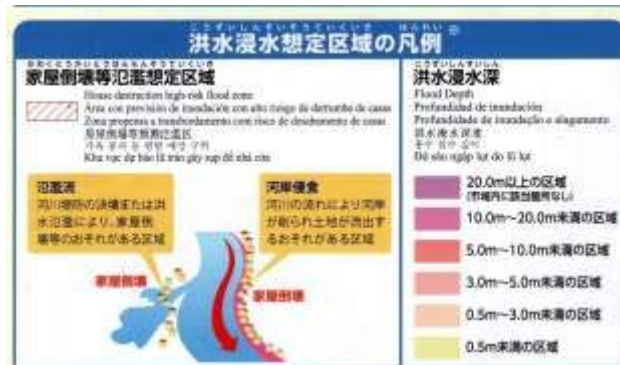
マンホール
バラバラになった砂の粒子が沈むため、地面には水が出てきたり裂け目から砂まじりの泥水が噴き出します。



想定地震の説明



土砂災害、洪水ハザードマップ 明治地区



内水氾濫ハザードマップ 明治地区切り出し

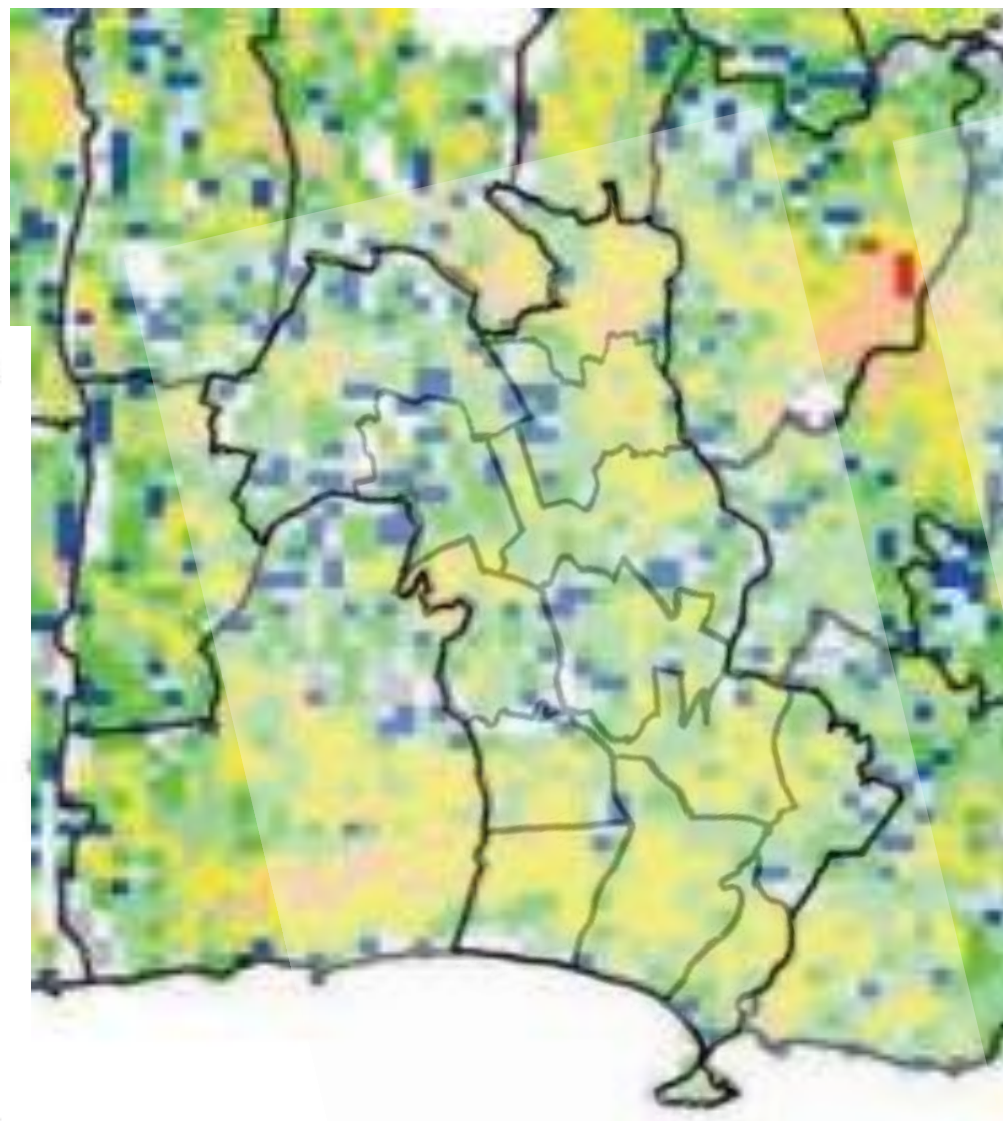


- ふじさわマップ

https://webgis.alandis.jp/bfujisawa14/210/webgis/index.php/autologin_jswebgis?u=guest_bouhan&ap=jsWebGIS&m=2&x=-31459.350300084767&y=-73296.49375783568&s=2500&rs=6677&li=4&si=0

明治地区全壊棟数

(相模トラフ沿い最大)



明治地区建物全壊率

(関東大震災再来型の地震)

全壊率

Percentage of Severely Damaged Buildings
Porcentaje de Edificios Severamente Dañados
Percentagem de Edifícios Severamente Danificados
Tỷ lệ phần trăm của các tòa nhà bị hỏng nặng
比例严重损坏的建筑物 심각하게 손상된 건물 비율



出典: 藤沢市地域危険度マップ全壊率 2011年
作成

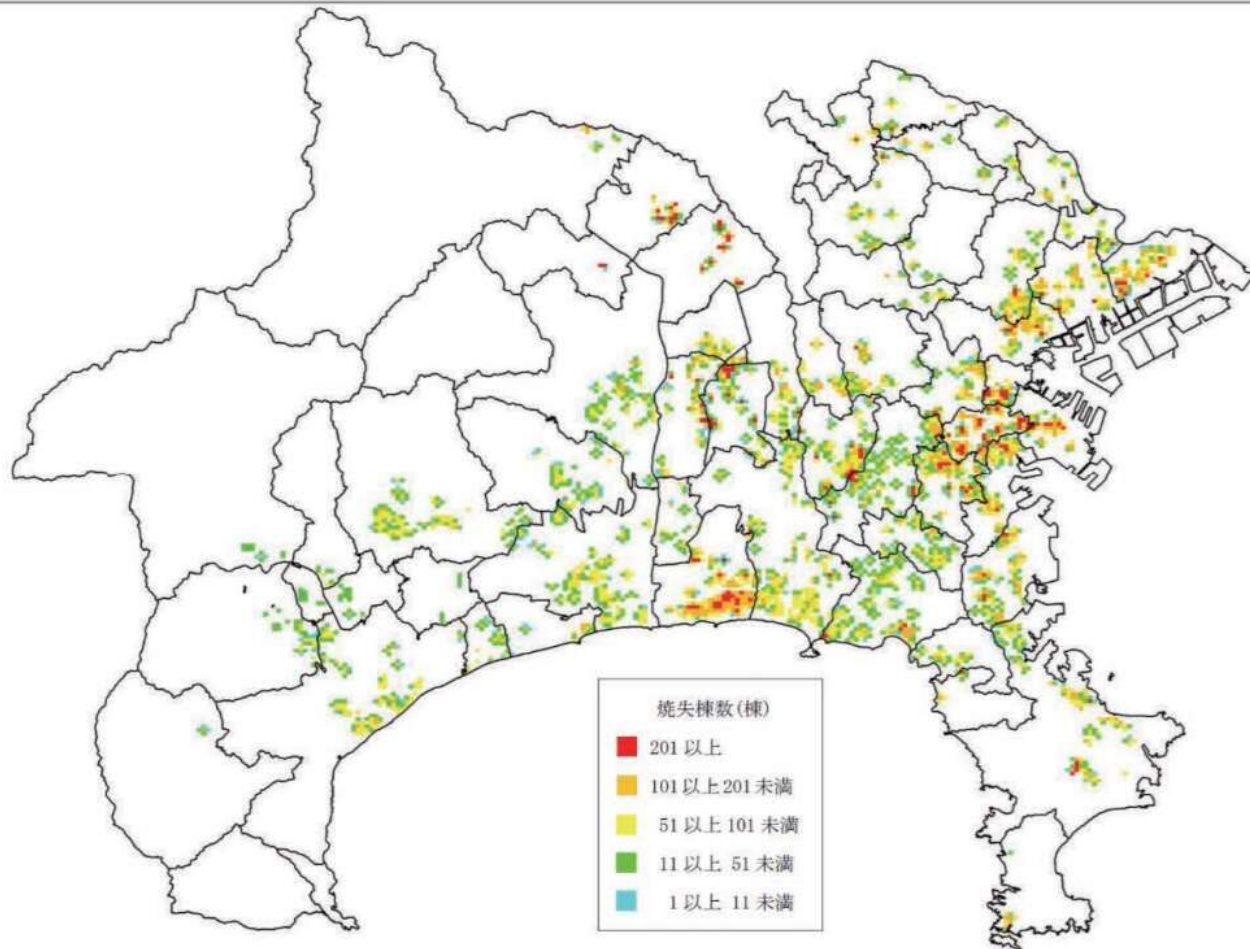
想定地震: 南関東地震(関東大震災と同一の
震源域で再来を想定した地震)

メッシュ単位: 50m四方



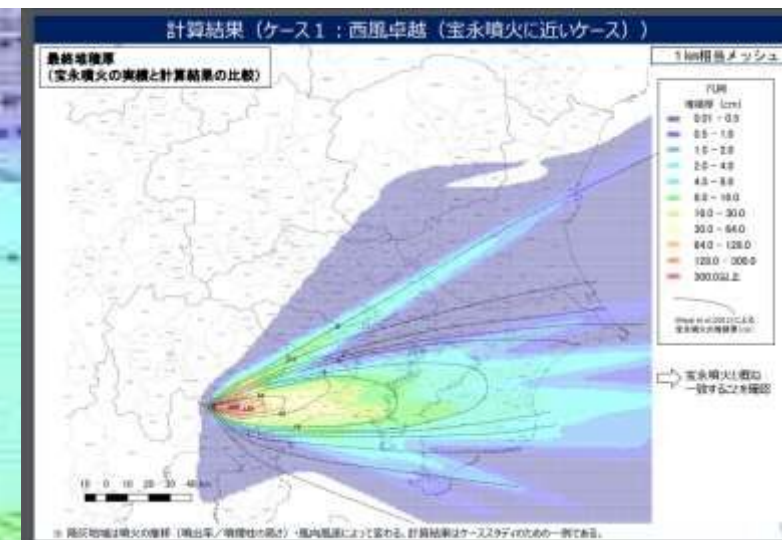
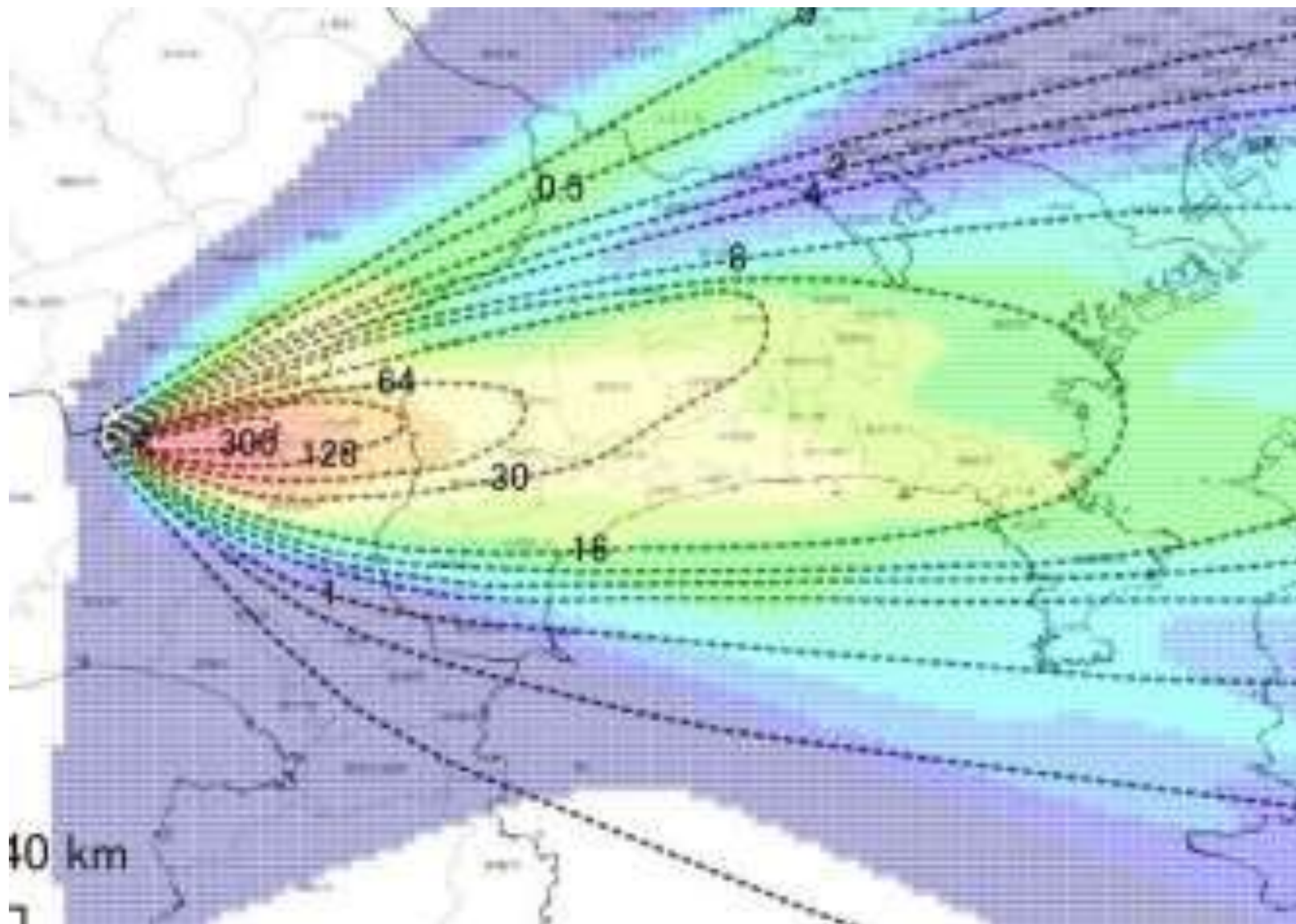
地震時の火災被害想定（令和7年3月）

火災被害（焼失棟数）：相模トラフ沿いの最大クラスの地震



- 相模トラフ沿いの最大クラスの地震
- 出火
 - 神奈川県で 2,390件
 - 藤沢市で 170件
- 焼失
 - 神奈川県で 103,630棟
 - 藤沢市で 7,480棟

富士山の噴火による降灰想定

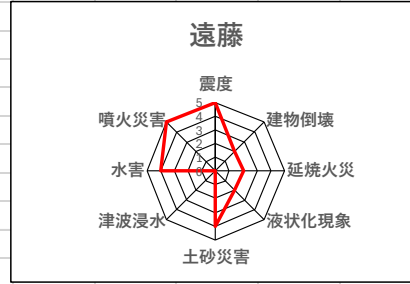
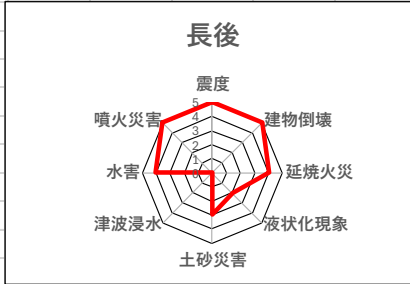
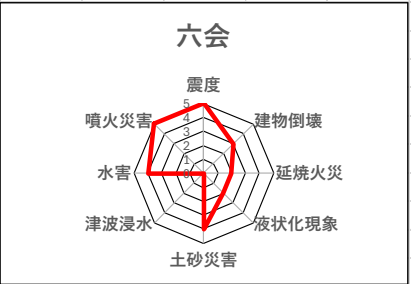
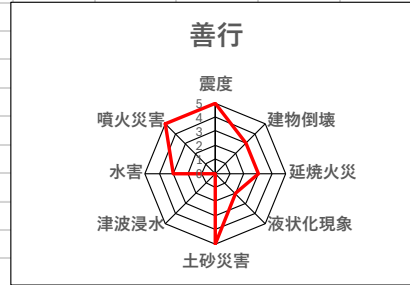
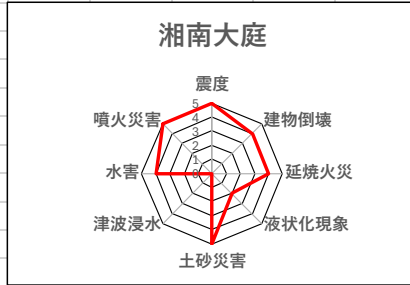
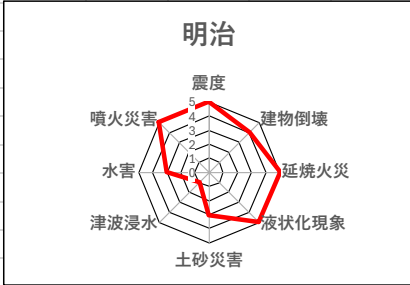
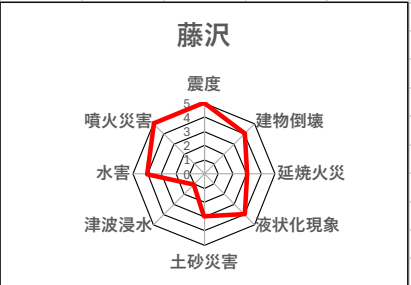
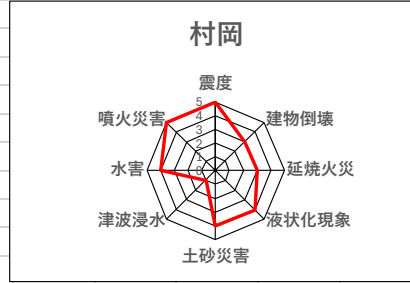
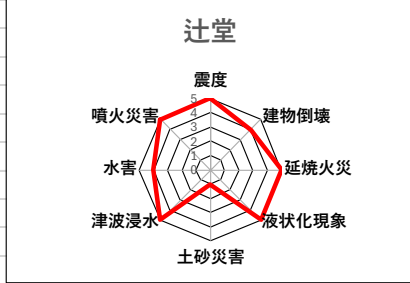
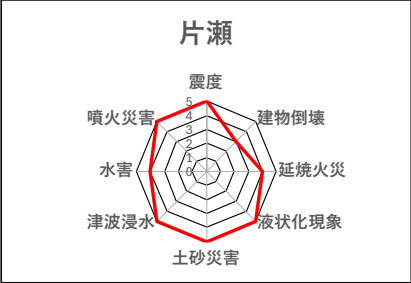


大規模噴火時の広域降灰対策
について ー首都圏における降
灰の影響と対策ー ～富士山噴
火をモデルケースに～ 内閣
府 2020.42017

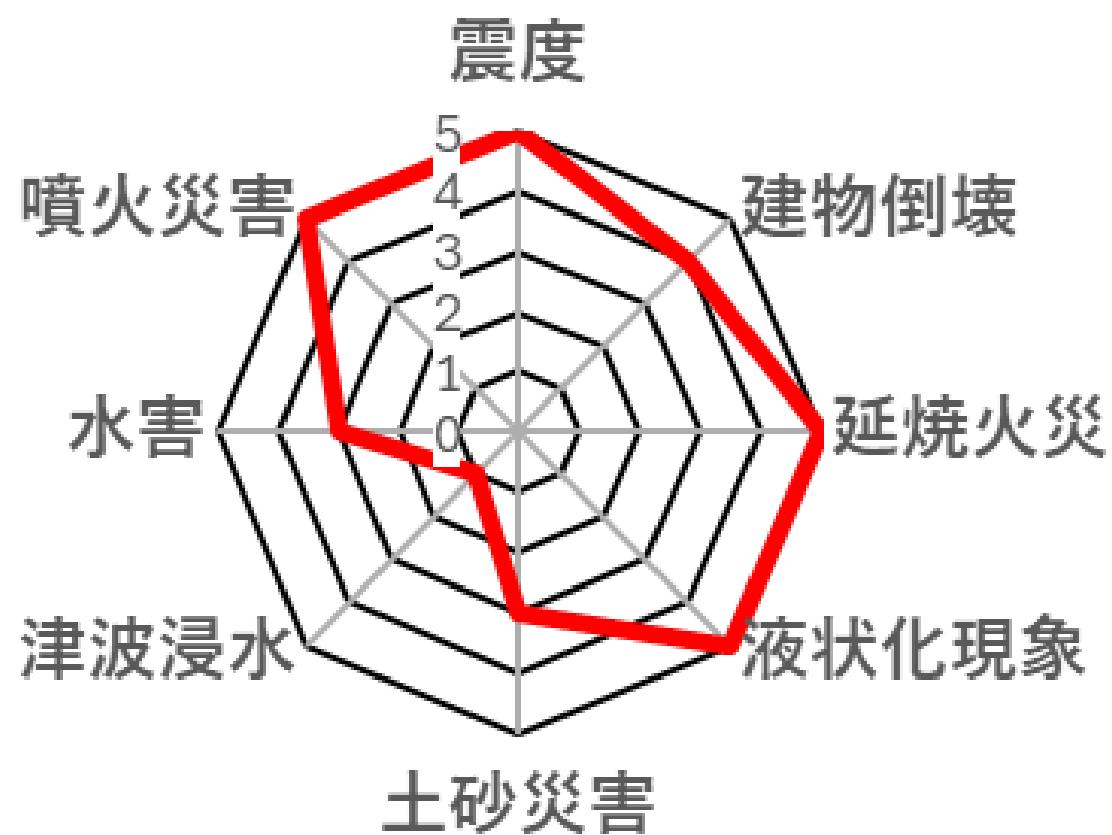
https://www.bousai.go.jp/kazan/kouikikouhaiworking/pdf/syutoshiryo_01.pdf

藤沢13地区ごと災害危険の違い（8災害試案）

地区	震度	建物倒壊	延焼火災	液状化 現象	土砂災害	津波浸水	水害	噴火災害
片瀬	5	3	4	5	5	5	4	5
鵜沼	5	3	5	5	1	5	5	5
辻堂	5	4	5	5	1	5	4	5
村岡	5	3	3	4	4	1	4	5
藤沢	5	4	3	4	3	1	4	5
明治	5	4	5	5	3	1	3	5
湘南大庭	5	4	4	2	5	0	4	5
善行	5	3	3	2	5	0	3	5
六会	5	3	2	2	4	0	4	5
湘南台	5	4	3	2	5	0	4	5
長後	5	5	4	2	3	0	4	5
遠藤	5	2	2	2	4	0	4	5
御所見	5	3	2	2	5	0	4	5



明治



生活への影響

	人口	上水道（人）	下水道（人）	都市ガ（件）	電力（軒）	通信 （不通回線）
藤沢市	444,868	400,220	76,810	144,330	235,800	175,700
明治地区	32,522 (市の7.31%)	29,000	5,600	10,600	17,200	12,840

帰宅困難者	直後	1 日後	2 日後
藤沢市	73,600	60,660	29380
明治地区（人口比）	5,400	4,400	2,100

4 災害対策

4-1 どんな対策があるか、
お尋ねします

4-2 明治地区での危険に備える

4-3 辻堂地区の取り組み事例

4-1 どんな対策があるかお尋ねします

4-1-1 例えば建物の倒壊

4-1-2 例えば土砂災害

4-1-3 例えば大規模火災

4-1 どんな対策があるか、お尋ねします

例えば建物の倒壊



例えば土砂災害

朝日新聞デジタル > 【写真まとめ】ビル倒壊、焼けた建物…能登半島地震、一夜… > 写真・図版



地割れが発生した輪島中のグラウンド=2024年1月2日午前8時21分、石川県輪島市、朝日新聞社機から、嶋田達也撮影

朝日新聞デジタル > 【写真まとめ】ビル倒壊、焼けた建物…能登半島地震、一夜… > 写真・図版



住宅近くの山肌が崩れ、道路をふさいでいた=2024年1月2日午後0時9分、石川県輪島市、林敏行撮影

令和6年 能登半島地震の地盤災害被害

例えば大規模延焼火災



火災で焼けた市街地＝2024年1月2日午後2時13分、石川県輪島市。朝日新聞社ヘリから、前野健太撮影。



4-2 明治地区での危険に備える

4-2-1 建物の倒壊に備える

4-2-2 火災の出火と延焼大火に備える

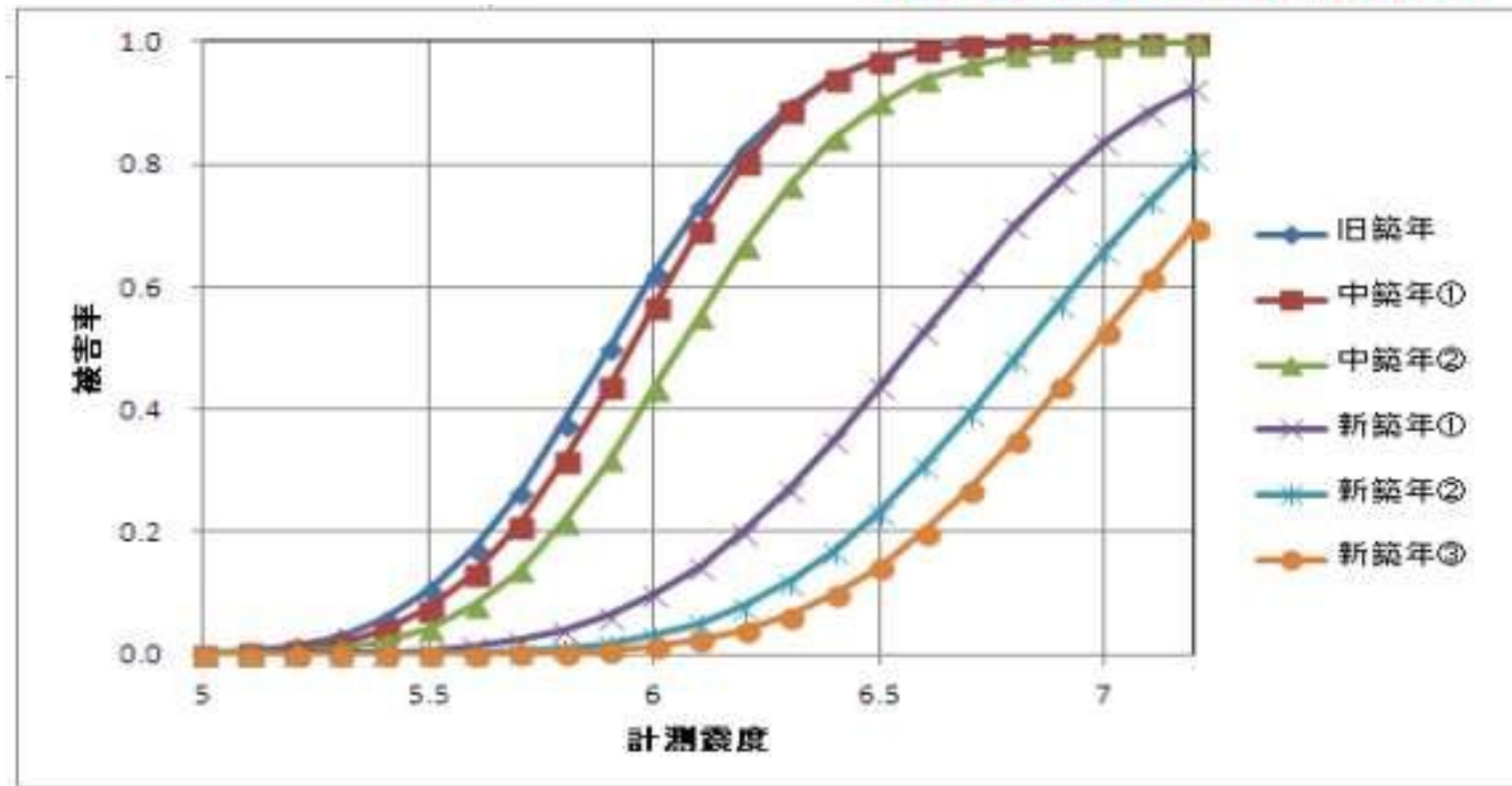
4-2-3 ライフラインの支障に備える

4-2-4 帰宅困難者、避難者の支援に備える

4-2-5 噴火災害に備える

4-2-1 建物の倒壊に備える

木造建物の全半壊率



地域の地震災害環境から防災・減災対策を考えるー新しい神奈川県地震被害想定調査の結果からー
第5回藤沢市建設業協会建設フォーラム 平成29年3月3日 神奈川大学工学部教授 荻本孝久

明治地区の木造率



- 藤沢市内の木造建物は76.2%、非木造建物は23.8%
- 木造建物のうち95.4%が住宅
- 藤沢市の住宅の8割が木造住宅

4-2-2 火災の出火と延焼大火に備える 大敵は木造家屋



2016年12月22日
大火
新潟県糸魚川市

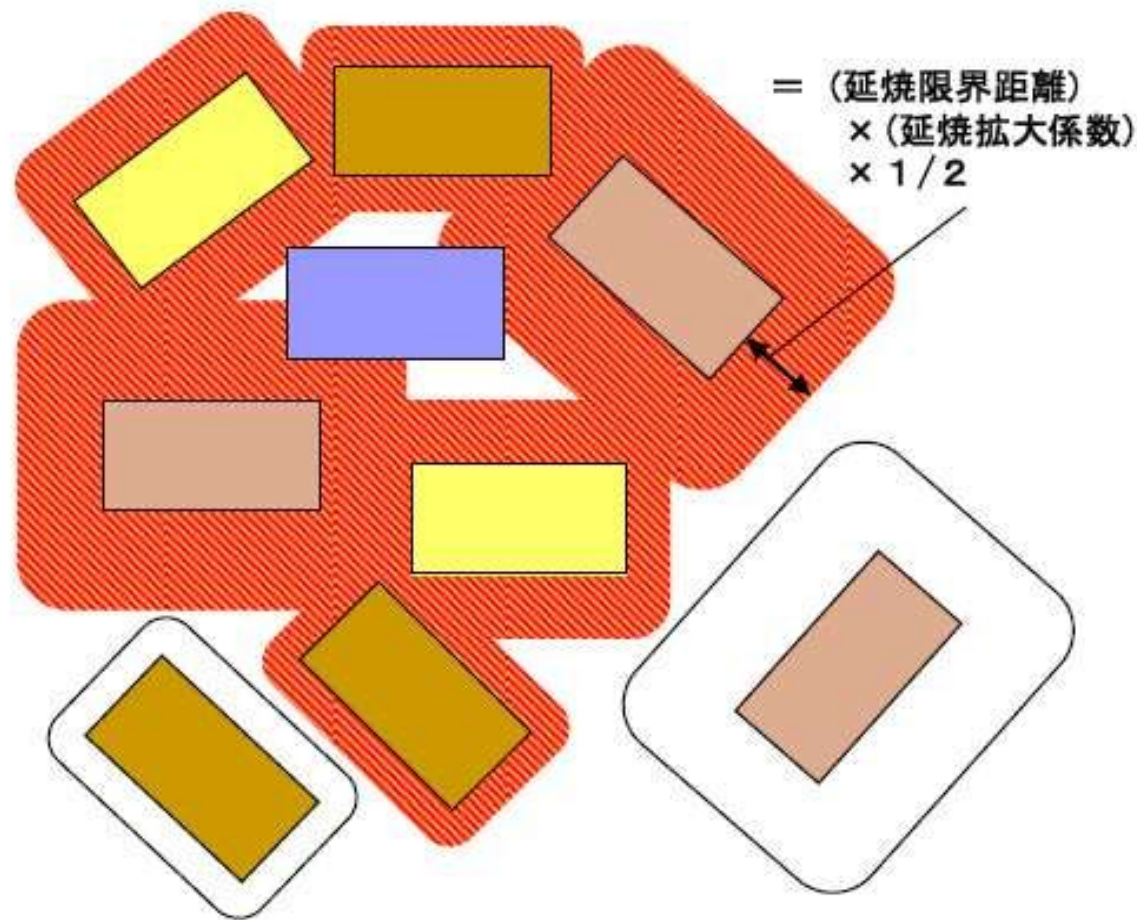


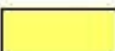
2024年1月1日
能登半島地震
石川県輪島市

1995年1月17日
阪神・淡路大震災
兵庫県神戸市



延焼火災運命共同体 (東京大学加藤孝明教授による)



建 物	
	木 造
	防 火 造
	準耐火造
	耐 火 造

 延焼
クラスタ



・延焼拡大係数

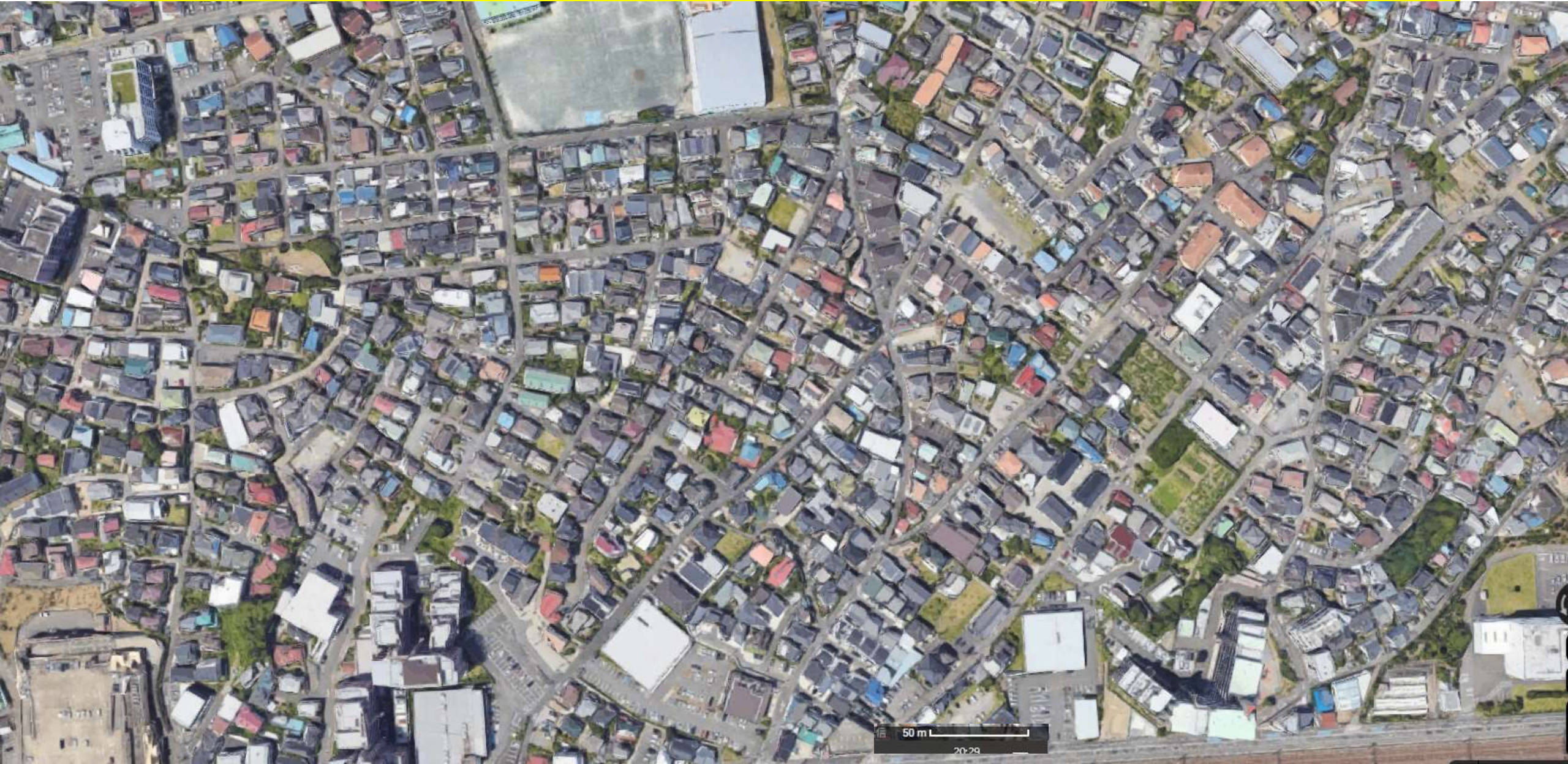
1.5

(=集団火災による火災拡大の効果を考慮し、延焼限界距離にかけると一律の倍数)

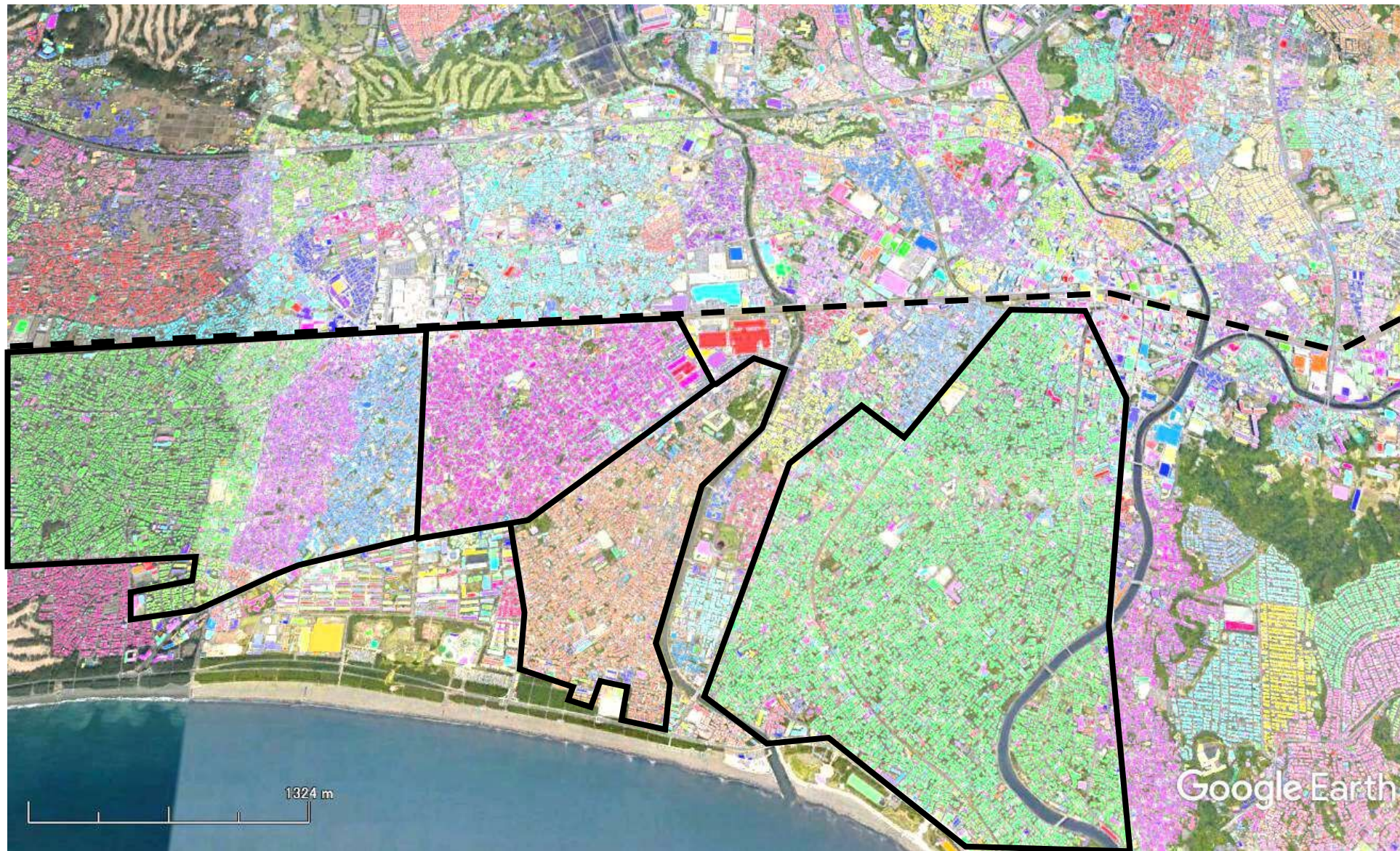
・延焼限界距離

木 造 : $12 \times (a/10)^{0.422} \text{ m}$
準耐火造 : $3 \times (a/10)^{0.181} \text{ m}$
(a=建物の一辺長さ)
防火造 : $6 \times (a/10)^{0.322} \text{ m}$
耐火造 : 0m

火災の出火と延焼大火に備える



延焼火災運命共同体

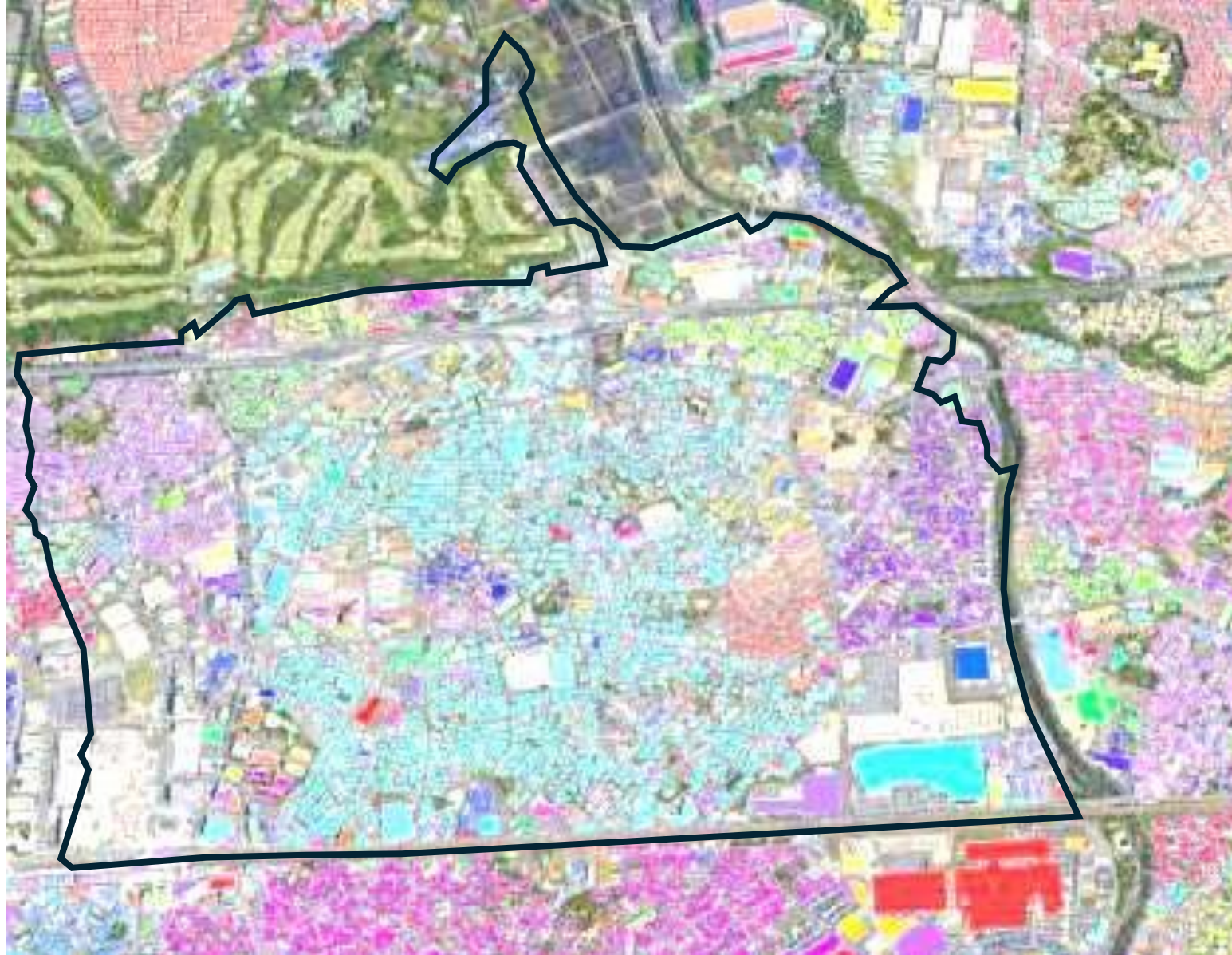


糸魚川焼失区域
(2016.12)
約**160m**×約**350m**



神戸市長田区新長田北地区
阪神淡路大震災で最大の焼失区域（赤色）

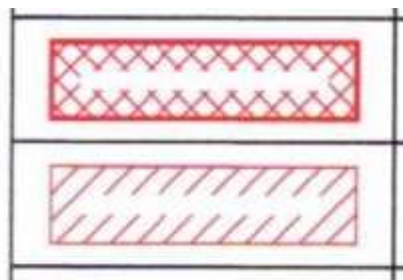
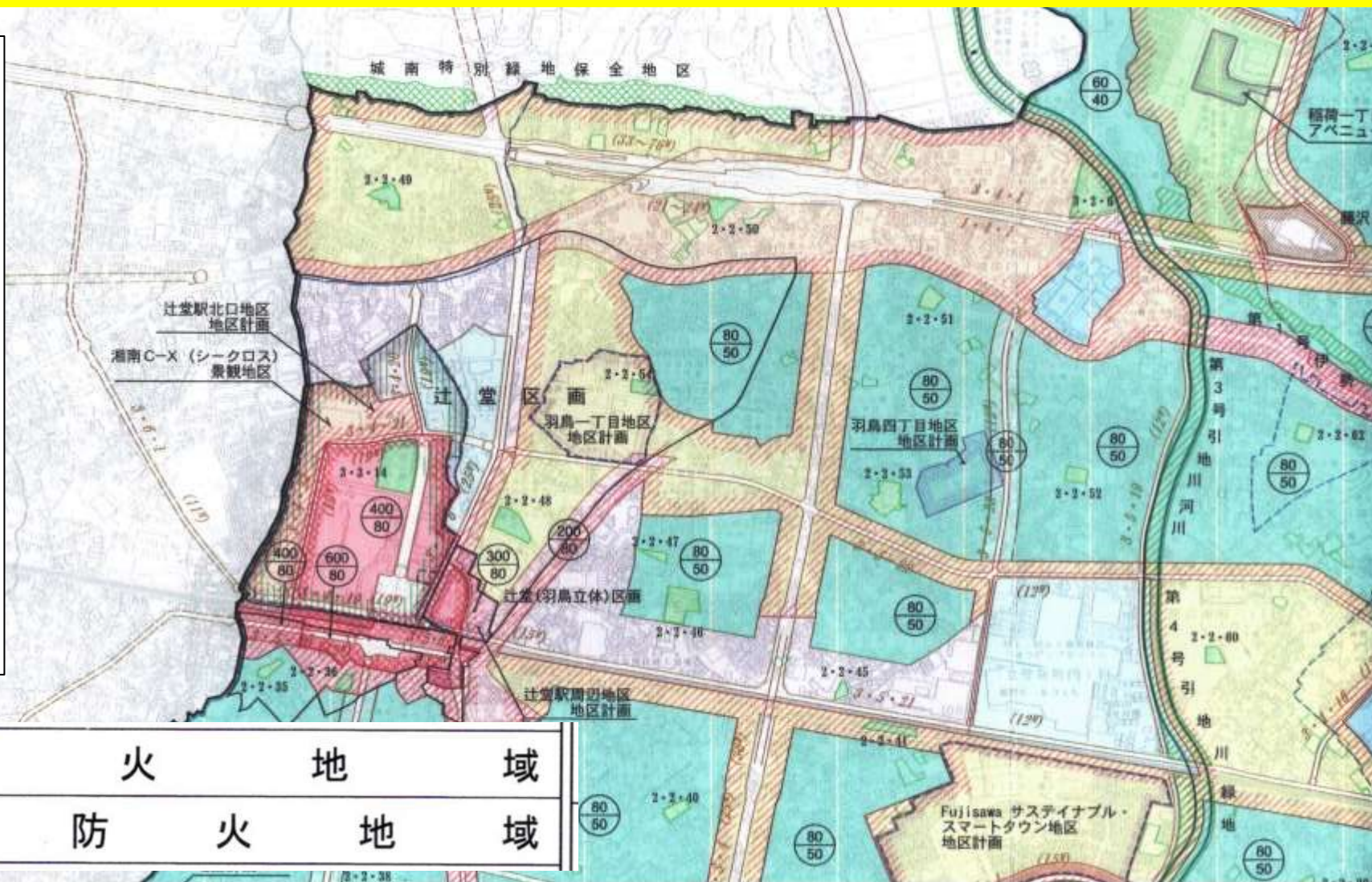
明治地区における延焼火災運命共同体



藤沢市都市計画における防火、準防火地域

防火地域と準防火地域は、都市部での火災の危険性を減らすために定められた都市計画区域です。

防火地域は建物の密集度が高く火災の危険度が高い中心部に指定され、防火建築物か耐火建築物の構造が義務付けられます。



防	火	地	域
準	防	火	地
域			

災害後の生活への影響 (人口比で明治地区を推定)

	人口	上水道 (人)	下水道 (人)	都市ガ (件)	電力(軒)	不通回線
藤沢市	444,868	400,220	76,810	144,330	235,800	175,700
明治地区	32,522 (市の7.31%)	29,000	5,600	10,600	17,200	12,840

帰宅困難者	直後	1日後	2日後
藤沢市	73,600	60,660	29380
明治地区(人口比)	5,400	4,400	2,100

4-2-3 ライフラインの支障に備える (水道、都市ガス、電力の復旧過程、東日本大震災、阪神・淡路大震災)

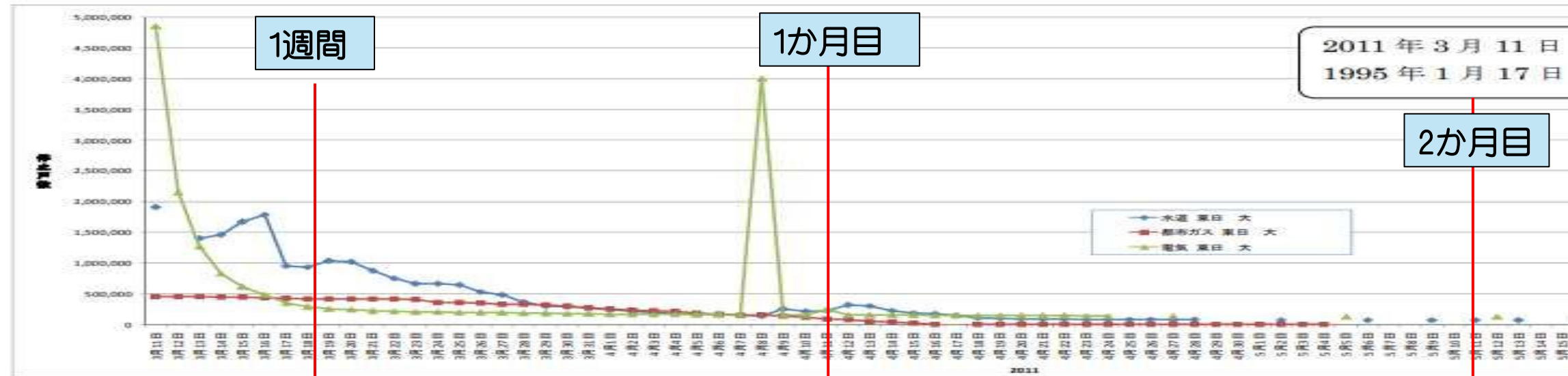


図20 東日本大震災における水道・都市ガス・電力の停止戸数の解消過程（電力については東北電力管内のみ）

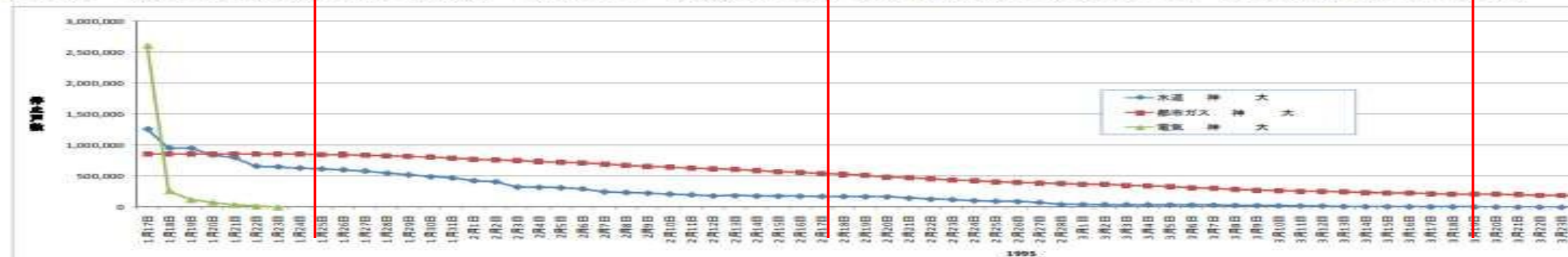


図21 阪神・淡路大震災における水道・都市ガス・電力の停止戸数の解消過程

4-2-4 帰宅困難者、避難者の支援に備える

7月31日のカムチャツカ地震津波の警戒レベル4(避難指示)

- ・ 辻堂地区では、多くの帰宅困難者発生、北向きの道路大渋滞、コンビニ・スーパー閉店
- ・ 明治地区では、どうでしたか。帰宅困難、渋滞等ありましたか。

一日当たりの乗車客数(令和 5 年度)

- ・ 藤沢駅は 3 線合わせ て、277,652 人、辻堂駅は 55,388 人、

実際に津波があれば、

- ・ 辻堂や海水浴客が明治地区方面に避難
- ・ 車も北向きに避難車両渋滞(?)

明治地区は藤沢からや辻堂からの避難者、帰宅困難者が多く滞在

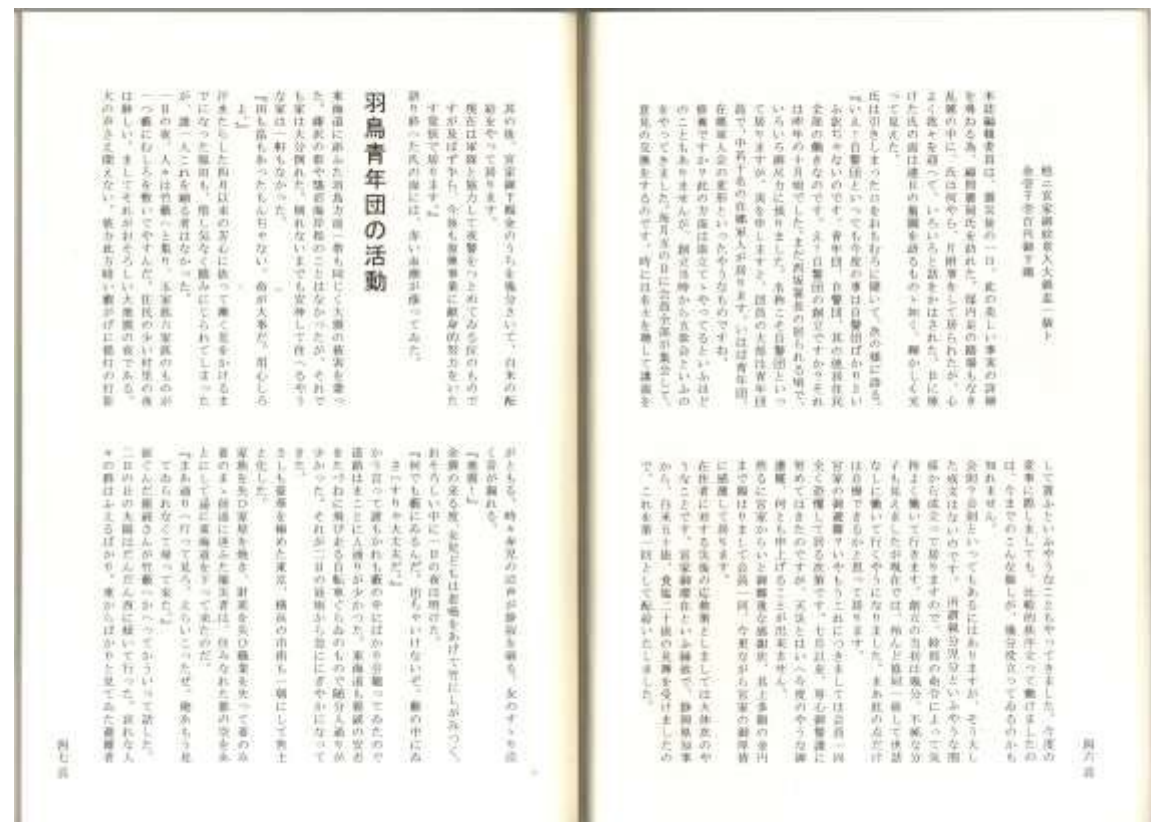
- ・ 明治地区で対応を余儀なくされる
- ・ 関東大震災時の明治の青年団の話

避難者もしくは帰宅困難者への対応

カムチャツカ地震での津波避難
(警戒レベル4 危険な場所からの避難)
での避難者、帰宅困難者への対応

藤沢市で実際に津波が来た場合の
海岸部からの避難者への対応

羽鳥青年団の活動
『震災誌』(仙田四五郎)p47～p50



4-2-5 富士山の噴火で考えられる被害

他の災害と状況はとても異なる！！

- 同程度の噴火

- 噴煙高さ10km以上
- 降灰は1kg /1m²で厚さ1mm
- 藤沢市の降灰量は20cmを越すか

- 電車

- うっすら降灰で不通
- レールを流れる電流

- 自動車

- 10cm未満で不通
- 滑る、雨が降ればもっと滑る
- ワイパーでスリガラスとなる
- センターライン見えず

- 飛行機

- ジェットエンジンに火山灰
- 降灰が羽田・成田、貿易が停止

- 水

- 相模川・酒匂川から取水、給水停止
- 火山灰による水質の汚染

- 農業

- 降灰
- 用水

- 生活

- 交通停止→ストックの不足→生活困難
- 交通停止→部品等の不足→生産停止

- 健康

- 呼吸器系障害

4-3 辻堂地区の事例

(辻堂東海岸3丁目)

4-3-1 町内会への防災アンケート

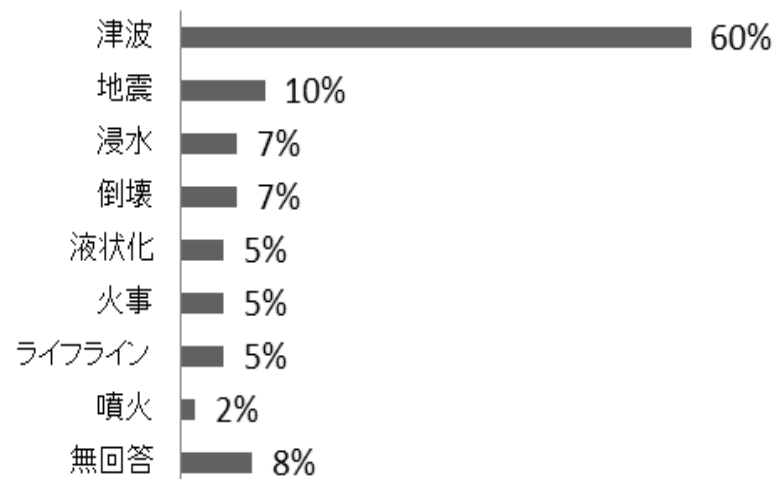
4-3-2 地区で起きた過去の災害

4-3-3 町内会の防災活動の例

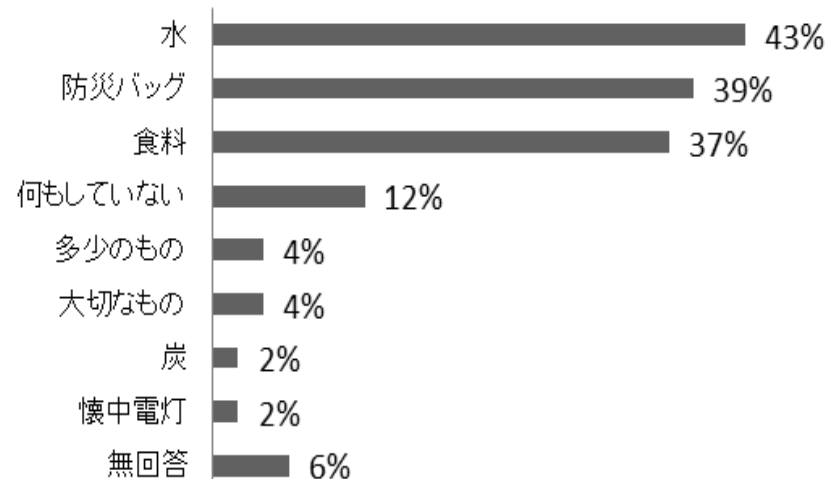
4-3-4 町内会の防災の課題

4-3-1 町内会への防災アンケート

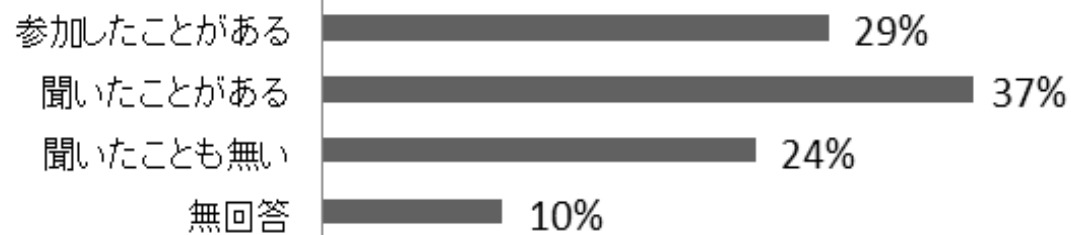
辻堂を襲う恐れのある災害は？



防災のための 備蓄



町内会の防災活動への参加



町内会での防災活動

	始めたこと	具体的な内容
1	過去の災害を知る	●過去の地震災害を知る ●過去の火災、洪水災害を知る
2	住んでいるところを知る	●河川、海岸、平野等の地形を知る まちの建物構造や道路・公園などを知る ●まちの防災施設・設備を知る
3	被災しないために備える	●自分の家の材料、構造、古さを確かめる ●自分の家のブロック塀などを点検する
4	緊急対応方法を習熟する	●自分や家族が避難する場所を探してきめる ●津波などからの避難訓練に参加する ●救急救命の講習を受ける 要支援者への支援の方法を考える
5	災害後の生活に備える	●非常食炊き出し、避難所運営訓練に参加する 食料備蓄、緊急持ち出し袋などの備えをする
6	ご近所づきあい	●隣近所と顔見知りになって、お付き合いをする 平素から町内会に参加する

4-3-2 地区で起きた過去の災害

辻堂に影響を及ぼした地震 出典 理科年表(平成22年度版)

明応の地震 1498

61 1498 9 20 (明応 7 8 25) 34.0°N 138.0°E M 8.2~8.4
東海道全般：紀伊から房総にかけての海岸と甲斐で振動が大きかったが、被害はそれほどでもない。津波が紀伊から房総の海岸を襲い、伊勢大湊で家屋流失1千戸、溺死5千、伊勢・志摩で溺死1万、静岡県志太郡で流死2万6千など、南海トラフ沿いの巨大地震とみられる。[3]

慶長地震 1605

72 1605 2 3 (慶長 9 12 16) A: 33.5°N 138.5°E M 7.9
B: 33.0°N 134.9°E M 7.9
東海・南海・西海諸道：『慶長地震』：地震の被害としては淡路島安板村千光寺の諸堂倒れ、仏像が飛散したとあるのみ。津波が大吠崎から九州までの太平洋岸に奔襲して、八丈島で死57、浜名湖近くの橋本で100戸中80戸流され、死多数。紀伊西岸広村で1700戸中700戸流失。阿波赤嶺で波高2丈、死1500余、土佐甲ノ浦で死350余、崎浜で死50余、室戸岬付近で死400余など。ほぼ同時に二つの地震が起こったとする考えと、東海沖の一つの地震とする考えがある。

元禄地震 1703

安政東海地震 1703

安政南海地震 1854

関東大震災 1923

昭和23年以降の辻堂地区の主な火災

年月日	名称	全焼	半焼	死者	負傷者
S 2 3 . 1 1 . 1 4	辻堂 電気通信事業者	1	0	0	0
S 3 2 . 7 . 7	辻堂 作業所	2	1	0	0
S 3 2 . 1 2 . 1 8	辻堂 製鋼所	1	0	0	0
S 4 7 . 2 . 1 6	辻堂 作業所	1	0	0	0
S 4 8 . 7 . 2 1	辻堂 飲食店	4	2	0	0
S 5 3 . 5 . 2 9	辻堂 大型スーパー	0	1	1	6
S 5 5 . 9 . 3 0	辻堂元町 アパート	2	2	0	0
H 9 . 1 . 1 9	辻堂元町 小売店舗	4	5	1	1
H 2 6 . 1 1 . 3	辻堂東海岸 飲食店	1	0	0	0
H 2 8 .	辻堂東海岸 住宅	1	0	0	0
H 3 0 . 5 . 1 5	太平台 住宅	3	0	1	0



撮影 小川雄二郎

4-3-3 町内会の防災活動の例

① ブロック塀の点検 平成30年10月実施

- 各種塀の理解
- ブロック塀の高さ
- ブロック塀の傾き
- ブロック塀のヒビ
- ブロック塀の鉄筋
- 補強の呼びかけ
- 生垣助成
- 町内会では伝えにくい



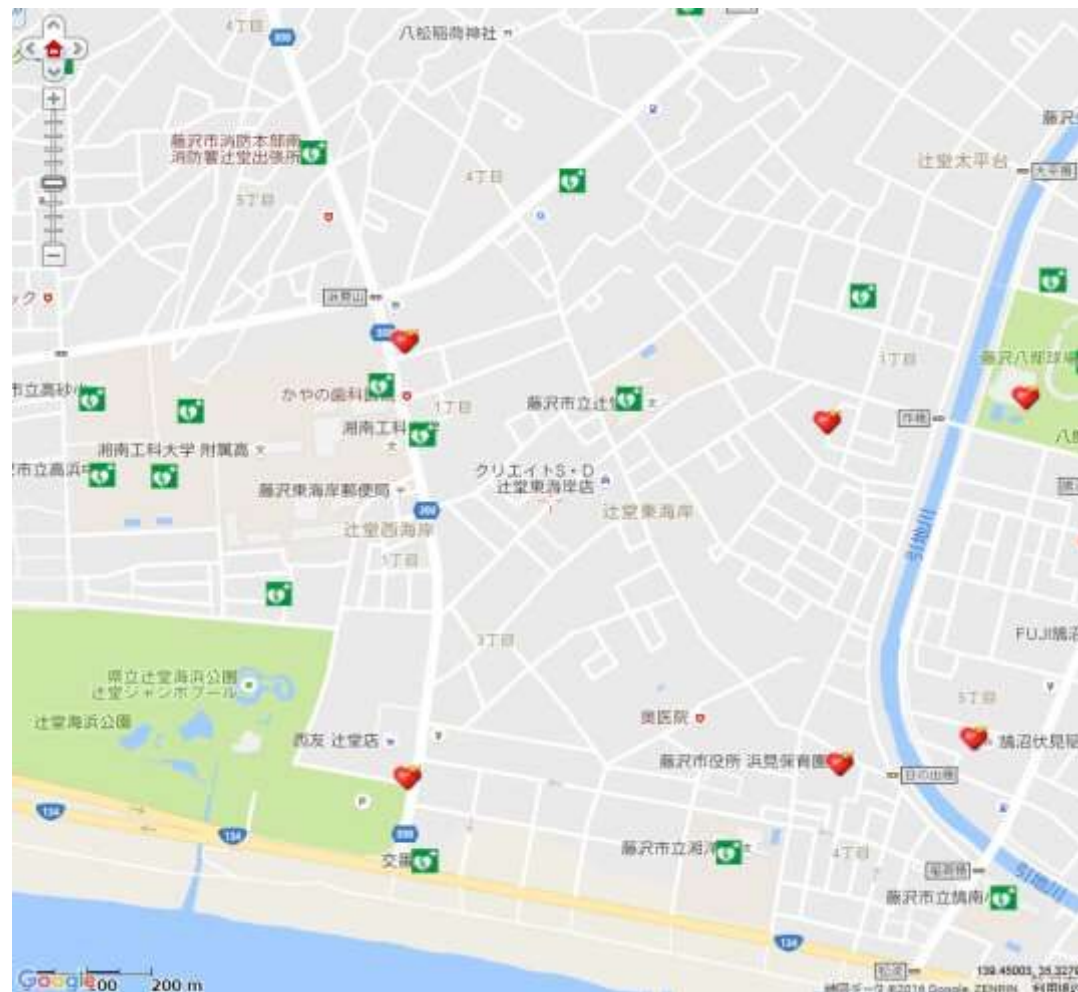
② AED研修・防災リーダー研修への参加

町内会から藤沢市消防局に研修を依頼



町内のAEDの配置図

平成28年7月



AED設置事業所 : 0.3m
 名称: 辻堂小学校
 所在地: 辻堂東海岸1-17-1
 設置場所: 職員玄関内壁面
 対応時間: 開校時間内

救急セーフティステーション (AED設置) : 308m
 名称: 辻堂児童館
 所在地: 辻堂東海岸2-6-18
 設置場所: 玄関付近
 対応時間: 10:00~17:00

AED設置事業所 : 324m
 名称: GUARD Cafe
 所在地: 辻堂東海岸1-10-18 イー・エス・エス 1F
 設置場所: 1階
 対応時間: 9:30~20:00(火曜除く)

AED設置事業所 : 357m
 名称: 神奈川H39自動車株式会社
 Volkswagen 藤沢
 所在地: 辻堂東海岸1-3-6
 設置場所: 1階ショールーム内
 対応時間: 9:30~19:00(定休日除く)

救急セーフティステーション (AED設置) : 359m
 名称: 辻堂市民センター
 所在地: 辻堂東海岸1-1-41
 設置場所: 1階第一休憩室入口脇壁面
 対応時間: 8:30~17:15

AED設置事業所 : 384m
 名称: 湘南工科大学・附属高校
 所在地: 辻堂西海岸1-1-25
 設置場所: 大学正門守衛室前
 対応時間: 24時間

AED設置事業所 : 398m
 名称: ユーモアリビング辻堂太平台
 所在地: 辻堂太平台1-15-30
 設置場所: 玄関内
 対応時間: 6:00~21:00

救急セーフティステーション (AED設置) : 613m
 名称: 鶴沼運動施設事務所
 所在地: 鶴沼海岸6-12-1
 設置場所: 1階監視室入口脇壁面
 対応時間: 8:30~21:00

AED設置事業所 : 624m
 名称: 消防辻堂出張所
 所在地: 辻堂5-5-18
 設置場所: 消防ポンプ自動車
 対応時間: 24時間

AED設置事業所 : 624m
 名称: 藤沢市立南小学校
 所在地: 藤沢市辻堂西海岸1-6
 設置場所: 1階事務所窓口
 対応時間: 月~金 9:00~18:00

AED設置事業所 : 799m
 名称: 済摩山交番
 所在地: 藤沢市辻堂東海岸4-3-17
 設置場所: 交番内

AED設置事業所 : 635m
 名称: 株式会社門倉組
 所在地: 辻堂元町4-17-22
 設置場所: 1階事務所
 対応時間: 8:00~17:00土日祝、休日を除く

救急セーフティステーション (AED設置) : 666m
 名称: 藤沢市立浅見保育園
 所在地: 鶴沼海岸4-17-6
 設置場所: 事務室内
 対応時間: 7:00~19:00

AED設置事業所 : 677m
 名称: 白浜義塾学校
 所在地: 辻堂西海岸1-2-2
 設置場所: 7F・1F棟玄関左側壁面
 対応時間: 開校時間内

AED設置事業所 : 683m
 名称: 太陽の家
 所在地: 鶴沼海岸6-6-12
 設置場所: 体育館
 対応時間: 開校時間内

救急セーフティステーション (AED設置) : 693m
 名称: 株式会社サーフフレッシュ
 所在地: 辻堂西海岸3-1-1辻堂海岸ビル2階
 設置場所: 社内玄関・貸車ワゴン車内・軽用車両内
 対応時間: 8:45~18:00

AED設置事業所 : 715m
 名称: 八郎公園野球場
 所在地: 鶴沼海岸6-12-1
 設置場所: 野球場正奥玄関入口スペース
 対応時間: 開校時間内

AED設置事業所 : 728m
 名称: 浜見小学校
 所在地: 辻堂西海岸1-4-1
 設置場所: 職員玄関内壁面
 対応時間: 開校時間内

AED設置事業所 : 737m
 名称: 湘南中学校
 所在地: 辻堂東海岸4-17-1
 設置場所: 職員玄関内壁面(入って左側)
 対応時間: 開校時間内

救急セーフティステーション (AED設置) : 755m
 名称: 藤沢市老人福祉センター湘南なぎさ荘
 所在地: 鶴沼海岸6-17-7
 設置場所: 1階ロビー受付
 対応時間: 9:00~16:00

救急セーフティステーション (AED設置) : 759m
 名称: 鶴沼子供の家
 所在地: 鶴沼海岸5-11-8
 設置場所: 見守る人コーナー横
 対応時間: 10:00~17:00

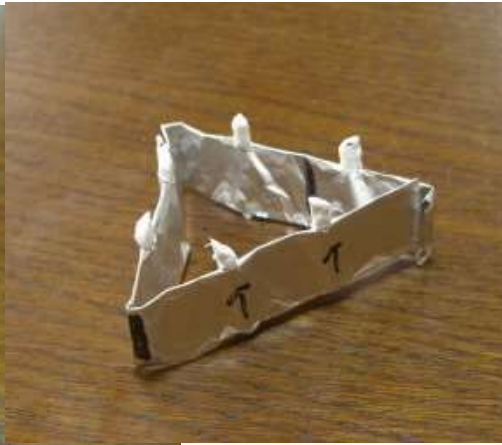
救急セーフティステーション (AED設置)
 AED設置事業所

AED設置事業所 : 760m
 名称: フェリエ ドゥ 鶴沼海岸
 所在地: 鶴沼海岸6-14-17
 設置場所: 健康管理室
 対応時間: 9:00~18:00

③ 緑の広場が無くなり、防災部長宅で炊き出し (5年ぐらい前から)

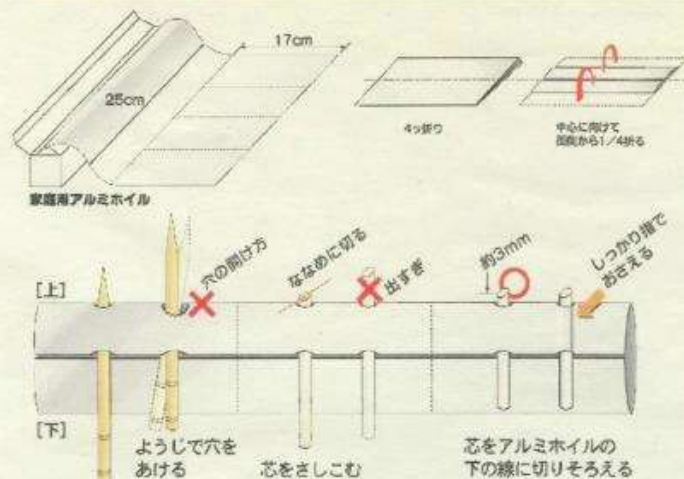


④ サラダ油とティッシュでほのぼのの灯りとご飯炊き



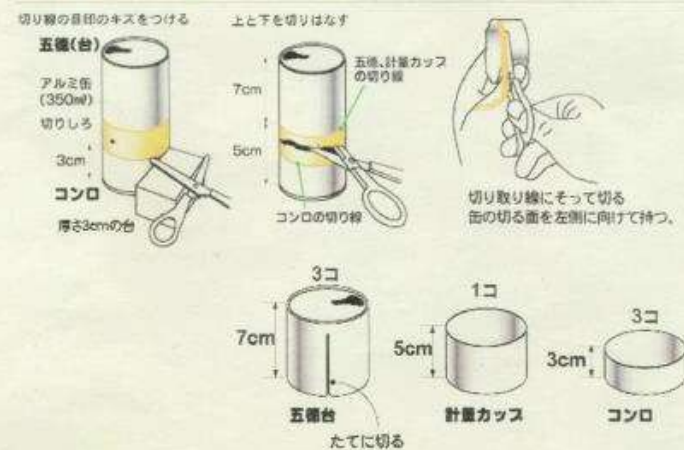
ふしぎな卓上コンロ

芯たての作り方



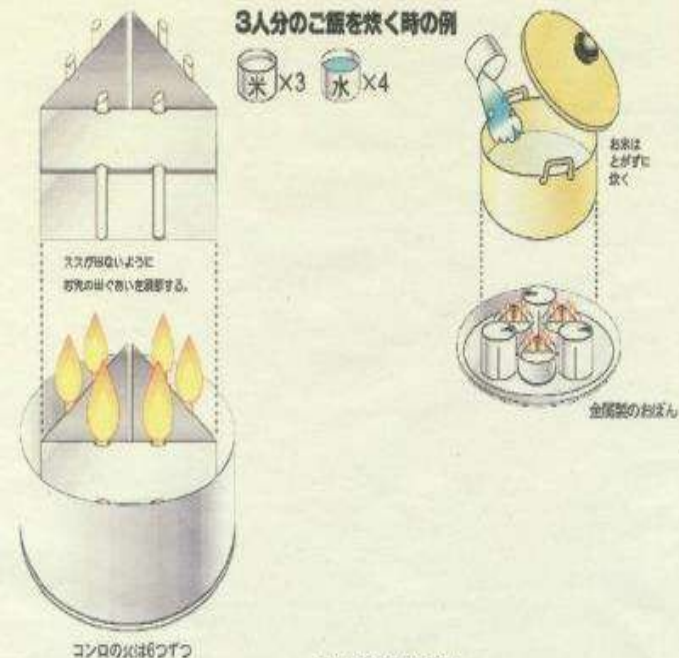
芯の作り方

コンロの作り方

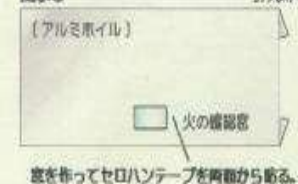


3人分のご飯を炊く時の例

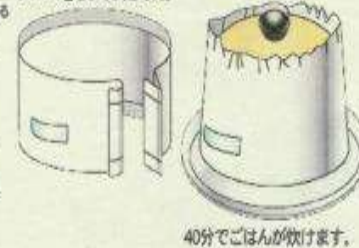
米×3 水×4



風よけ



ナベ…巻きより大きめに。



しまい方



このコンロで作れる料理の例

・クレープ	2分
・茶碗蒸し	30～40分
・目玉焼き	4～5分
・ホットミルク	3～4分
・お餅を焼く	5～10分
・ソーセージ炒め	2～3分
・炊き込みごはん	40分(3人分)

⑤ 車いすによる避難体験

海岸からの津波避難



2019年5月26日辻堂海岸にて

4-3-4 町内会の防災の課題

- 東日本大震災から11年 ⇒ 防災意識の低下
- ⇒ 参加者の減少
- 防災活動の低下 ⇒ ネタ切れ
- ⇒ 他町内からの入知恵
- 要避難者への対応 ⇒ 名簿の取り扱い
- ⇒ その時の対応？
- 学校と地域との協力 ⇒ 未着手
- コロナ ⇒ 活動休止
- 他の町内会と協力、知恵の出し合いが必要

4-3 辻堂地区の事例 (辻堂地区)

4-3-5 黄色いタオルによる安否確認

4-3-6 個別避難計画

4-3-7 避難所運営委員会

4-3-5 黄色いタオルによる安否確認

動けない人を見つけ、自分は無事と知らせる
自分のためでなく、人のためのシステム

黄色いタオルが安否確認をスピードアップします
安否確認が迅速に行えることで、救助が必要な人を早く発見できます。



4-3-6 個別避難計画

- 避難行動要支援者のための個別避難計画
- 災害時に支援が必要な人が対象
- 町内会や福祉関係者が個別避難計画を作る
- 国や藤沢市が推進

避難行動要支援者名簿 2015年頃から

避難行動要支援者名簿 (令和5年度作成/令和6年度提供分)

管理番号 No. _____

氏名	性別	生年月日	住所	方言	電話番号	避難支援を必要とする事由	緊急時連絡先		自治会・町内会・自主防災組織		備考欄 (メモ・支援者等)		
							氏名	電話番号	名称	加入・有無			
〇〇 〇〇〇	男	昭和11年11月	朝日町1番地		0466-LL-NNNN	要介護3	2	EX PPTT	03-AAAA-BBBB	2	△▽自治会	1	1-5
〇〇△△ 〇〇〇	女	昭和11年11月	朝日町2番地		0466-BB-TTTT	一人暮らし高齢者	1	DD HHHH	0467-XX-VVHV	2	○×町内会	2	

【新機】

- ・今年度提供分から新たに名簿掲載者となった方
- ・転居等により、居住する区域の自治会・町内会、自主防災組織が変更となった方

【管理番号No.】

名簿を、複写等により掲載人で管理する場合にご活用ください。

※詳細は、同封の「避難行動要支援者の支援体制づくりについて(手順書)」をご確認ください。

【避難支援を必要とする事由】

＜要介護区分＞

- ・要介護3
- ・要介護4
- ・要介護5

＜障がい種別区分＞

- ・視覚障がい
- ・聴覚障がい
- ・上肢障がい
- ・下肢障がい
- ・体幹障がい
- ・上下肢体幹障がい
- ・知的障がい
- ・精神障がい
- ・自立支援医療
- ・認知症

＜高齢者区分＞

- ・おたけり高齢者
- ・ひとり暮らし高齢者
- ・高齢者のみ世帯

※上記に該当しない方については「個別申し出」としていただきます。
(名簿掲載者の方の状況等により、登録時の事由から変更となっている場合があります。)

日頃の活動の中で把握された情報につきましては、備考欄を活用し、ご対応くださいますようお願いいたします。

【緊急時連絡先】

緊急時にあててのみ、ご活用ください。

【(※3) 自治会等加入の有無】

【欄・町名】

名簿掲載者ご本人等の申し出に基づき記載しているため、自治会等で把握している情報と異なる場合があります。

情報が異なっていた場合は、備考欄を活用し、ご対応くださいますようお願いいたします。

(※1) 必要とする支援内容

- 1: 自力で避難できるが、情報収集手段がないなど、自身・家族での情報収集が難しいので、市が発令する避難情報(避難指示等)を伝えてほしい
- 2: 自力歩行は可能だが、不安があるので指定避難所等まで付き添ってほしい
- 3: 寝たきり等で自力避難が困難なので、避難に際して手助けしてほしい

(※2) 本人との関係

- 1: 同居親族
- 2: 別居親族
- 3: その他

(※3) 自治会等加入の有無

- 1: 加入
- 2: 未加入

・要支援者のすべてを訪問して、ニーズを聞き取っているか？

・2つの町内会が完璧に実施していた。

・言い訳の、形だけだった事への反省

個別避難計画

避難行動要支援者に対して個別に計画を作成

- ・避難行動要支援者のための個別避難計画

- ・災害時に支援が必要な人が対象

- ・町内会や福祉関係者が個別避難計画を作る

- ・国や藤沢市が推進

[illegible]

避難行動要支援者		個別避難計画に記載等された情報（計画情報）は、避難支援等の実施に必要な限度で消防や警察等の避難支援等関係者に提供されることとなります。計画に記載等された情報の一部だけを消防や警察等の避難支援等関係者に提供することも可能です。提供先では必要以上に共有することがないようにするなど、情報漏洩の防止などの対応に努めています。			
誰が	（ふりがな）	（ ）	※要支援者が18歳未満の場合は保護者名（ ）		
	氏名		性別	☐ 男 ☐ 女	住所 藤沢市 電話 （ ）
	生年月日		支援区分	☐ 高齢 ☐ 身体 ☐ 療育 ☐ 精神 ☐ 介護 ☐ その他	
避難先		避難経路は災害時にとることが予定される経路を書いてください。災害の状況によっては、記載のとおり避難できない場合もあります。その場合は、当日の状況に応じて避難経路や避難先を変更してください。			
やこく	大雨のとき （洪水） 	避難場所	☐ 在宅避難		
			☐ 避難所	【 ☐ 近隣の指定緊急避難場所（ ）】	
				【 ☐ その他の避難所（ ）】	
			☐ 家族・知人宅		
			☐ その他（ ）		
	地震のとき （津波） 	避難場所	津波の危険がある地域にお住まいの方 【 】 津波避難ビル（タワー）		
			☐ 在宅避難		
			☐ 避難所	【 ☐ 近隣の指定避難所（ ）】	
				【 ☐ その他の避難所（ ）】	
			☐ 家族・知人宅		
☐ その他（ ）					

		□ その他 ()				
避難支援等実施者 (実際に避難支援していただく人を記入)		避難支援等実施者本人やその家族等の生命及び身体の安全を守ることが大前提です。 また、個別避難計画は、あくまで避難の円滑化や避難行動への支援の可能性を高めるためのものであり、 避難支援等実施者に対して、避難支援等の結果について法的な責任や義務を負わせるものではありません。 避難支援等実施者は個人である必要はありません。組織や団体を記載等することも可能です。				
誰と	①	氏名	続柄	住所	藤沢市	
				電話	()	
	①	どのように (該当する支援内容の口にチェック)				
		□ 声掛けしてもらう		□ その他の支援	【支援内容】	
		□ 一緒に避難先に行く				
		氏名	続柄	住所	藤沢市	
	②			電話	()	
		どのように (該当する支援内容の口にチェック)				
		□ 声掛けしてもらう		□ その他の支援	【支援内容】	
		□ 一緒に避難先に行く				
※避難支援の依頼は、本人や家族等から普段のお付き合いの中でお願いしてください。 ※個人ではなく自治会など団体でも問題ありません。3名以上の場合、欄外や裏面を活用してください。						

4-3-7 避難所運営委員会

- 避難所ごとに避難所運営委員会を設置
- 委員には、
 - 避難所リーダー（避難所の区域における町内会等の役員等）
 - 避難者代表（避難所に避難した住民代表）
 - 施設管理者、
 - 市職員（従事職員）
- 避難所運営の実務
 - 計画と分担の打ち合わせ会だけになっていないか？
 - 防災倉庫を実際にあけたことがあるか？
 - 学校を使った実際の運慶訓練を行ったことがあるか？

5 人間側の幾つかの問題について

5-1 危険が迫っているか避難行動をとるべきかの決断力

5-2 なぜ、自分は死なないことになっているのか？

5-1 危険が迫っているか避難行動をとるべきかの決断力

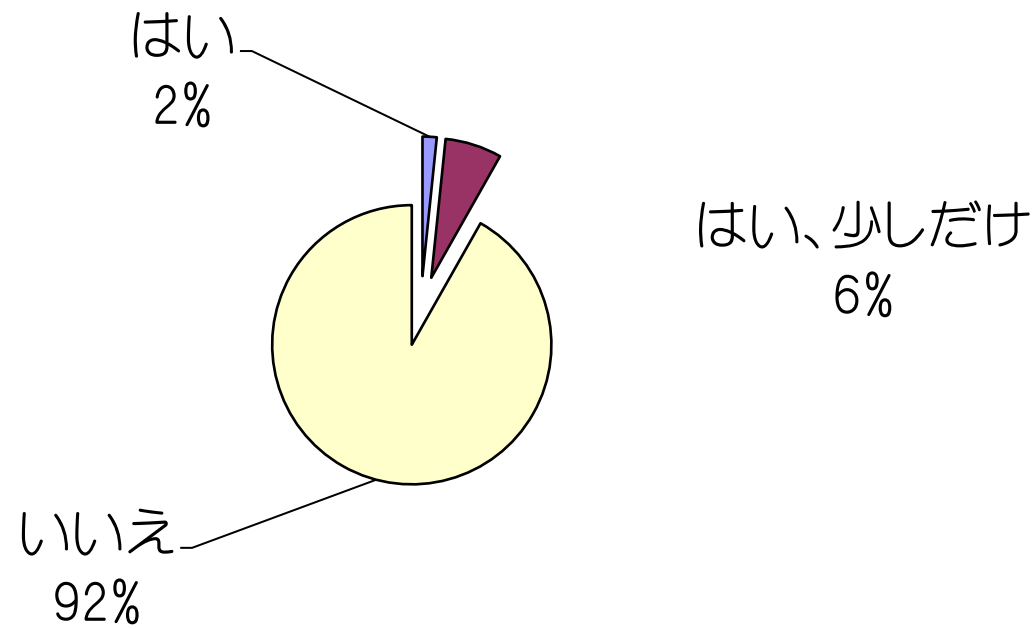
これをどう育てるか？

2011年3月11日の震災当日に、
辻堂東海岸3丁目町内会長のところに☎

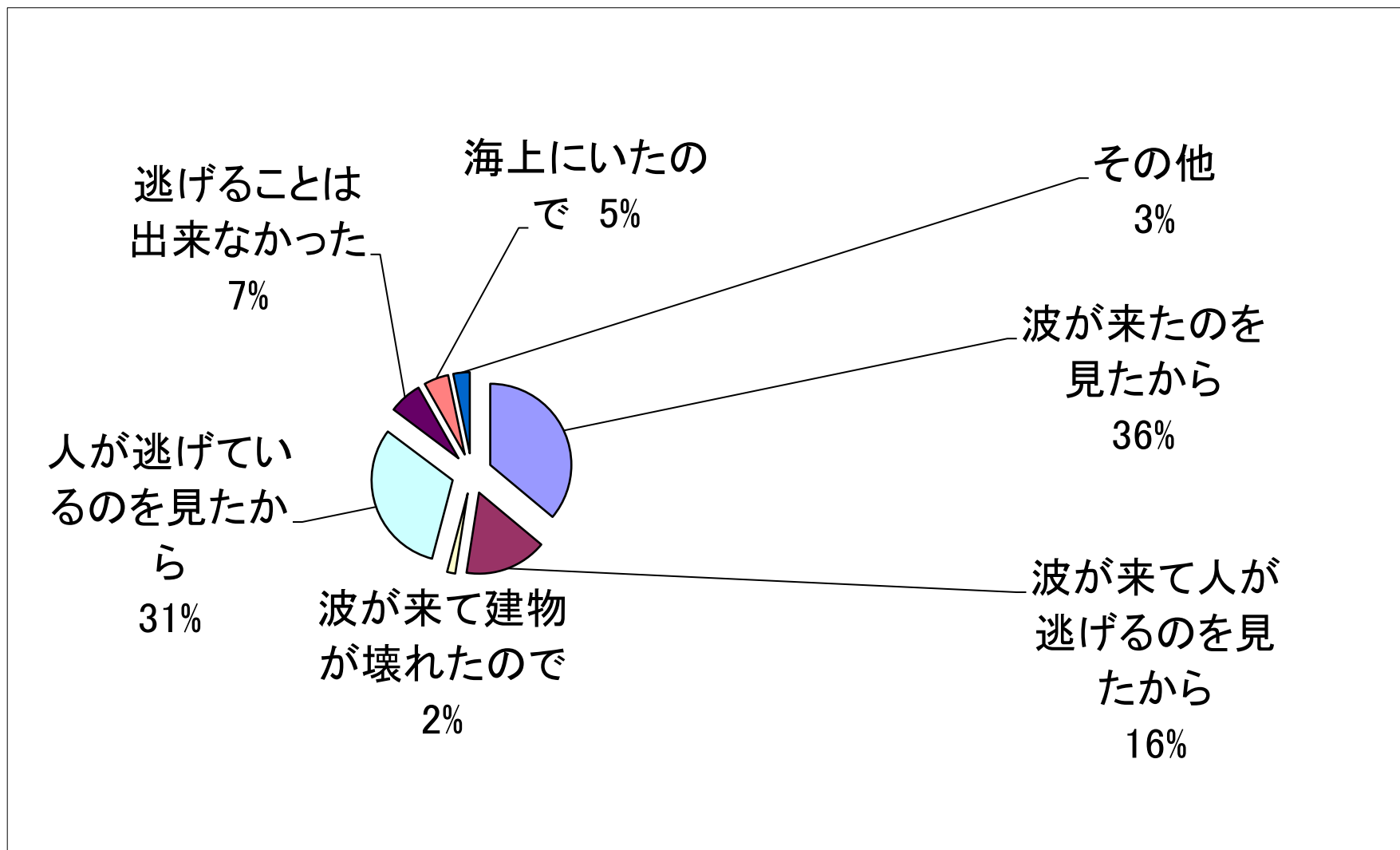
私は避難するのでしょうか？

スマトラ大津波(2004年12月死者24万人)の 生き残った住民たちへの聞き取り調査

あなたは津波を知っていましたか？



逃げた理由はつぎのどれでしたか？

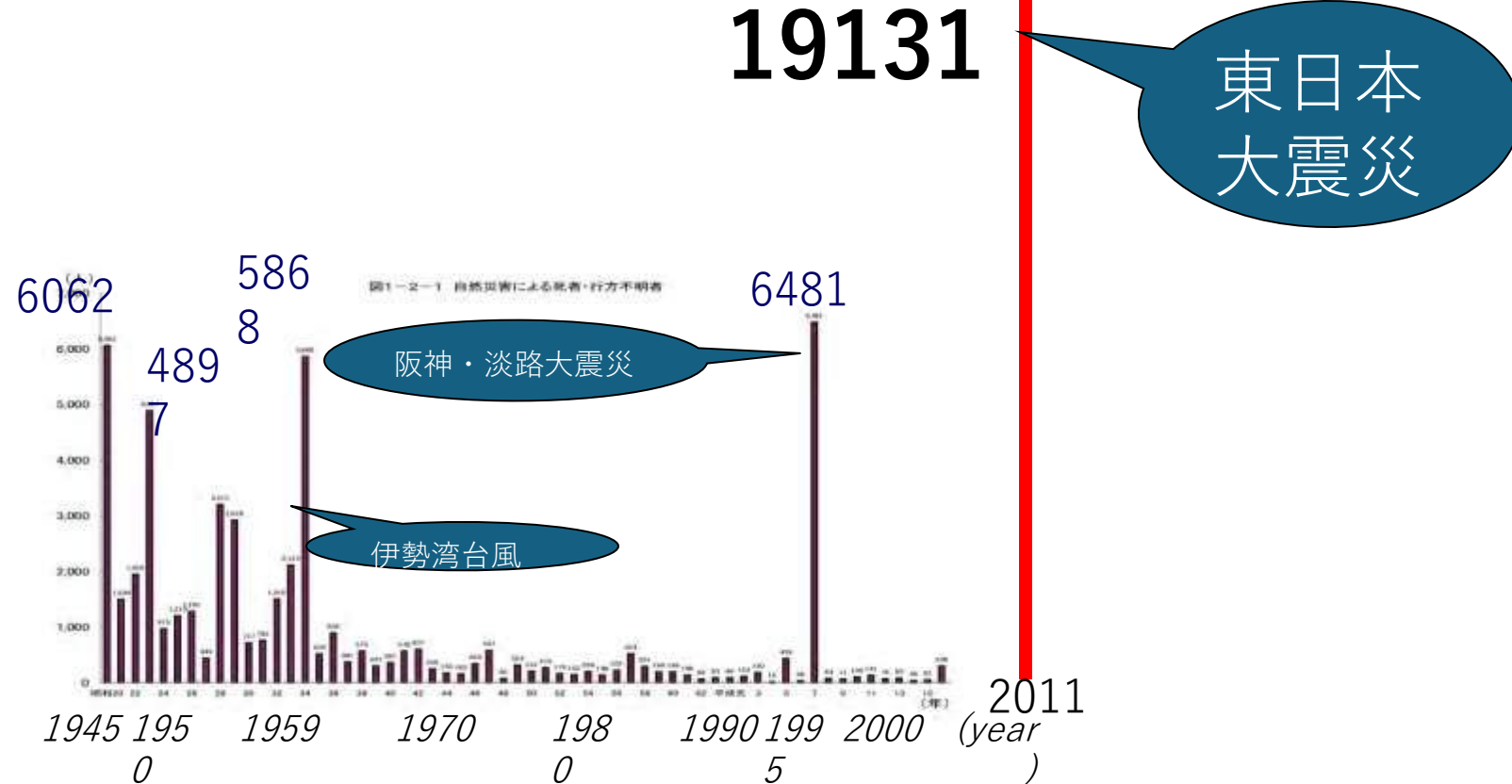


日本では

- いろいろな災害が繰り返して発生
- 津波災害はよく知られた現象
- 地域の災害に対する備えは進んでいる
- 津波警報は発令され、TV等で住民には周知
- 緊急地震速報も出るようになっている
- 津波防潮堤、津波ゲートなどのハード対策
- 避難場所、避難ルートなどのソフト対策
- 学校における防災教育

自然災害による死者・行方不明者数の推移

— 日本の災害状況 —



この日本で、だからこそ失われてきたもの

住民が自ら状況を認識し、行動をとる能力
すなわち自分で判断する能力

1. 地域における災害の発生危険性の理解とその地域の災害に対する脆弱性の理解
2. 災害発生時の緊急性の理解ととるべき行動の選択と決断力

5-2 なぜ、自分は死なないことになっているのか？ 「正常化の偏見」

防災訓練で行う訓練を見ると

- AED・心肺蘇生、避難場所運営、消火訓練など
- 自分が死ぬのを防ぐ対策は棚上げにすることが多い

正常化のバイアス （正常化の偏見）

- 自分に不都合なことは自分には起こらないと思う心理

なぜ、自分は死なないことになっているのか

- 地震が来ても、自分の家は（理由はないが）大丈夫だ。
- だから、自宅の耐震化はする必要が無い。
- 相模湾には大きな津波は来たことがない。
- だから、津波は大丈夫だ。
- 相模湾に来ても、被害想定では海岸の道路を越しては来ない。
- だから、津波は大丈夫だ。
- 道路を越しても、この地盤は周りより少し高い。
- だから、この地区は大丈夫だ。
- ここに津波が来ても、住んでいるのは2階だ
- だから、自分の部屋は大丈夫だ。
- 第一、うちは浸水想定区域ではないのだ。
- 結局、いつも自分は大丈夫だ。

なぜ被害が起きないように努力はしないで、
起きた後にどうするかばかりを考えるのか？



ご清聴 有難うございました